

付 録

小山市年表

年(西暦) 年 月 日		出来事
紀元前12000	旧石器時代	○西ノ台遺跡・鉢形遺跡。石を打ち欠いただけの簡単な石器を利用して、狩りと採集の生活がはじまる。
紀元前12000	旧石器時代	○土器の使用がはじまる。
紀元前10000	縄文時代草創期	○弓矢の使用がはじまる。竪穴住居での生活がはじまる。
紀元前8000	縄文時代早期	○寒沢遺跡。人々の定住生活がはじまる。
紀元前4000	縄文時代前期	○乙女北浦遺跡に人々が住みはじめる。気候が温暖になり、小山付近（野木・藤岡町）に貝塚が見られる。
紀元前3000	縄文時代中期	○伝河原遺跡・寺野東遺跡。小山市域の各地で、このころの遺跡が多く確認される。
紀元前2000	縄文時代後期	○雨ヶ谷宮遺跡。乙女北浦遺跡に大集落が営まれる。
紀元前2000	縄文時代後期	○寺野東遺跡に環状盛土遺構・木組遺構が造られる。
紀元前1000	縄文時代晩期	○乙女北浦遺跡・井岡遺跡・寺野東遺跡。このころ、西日本で稲作がはじまる。
紀元前100	弥生時代後期	○乙女亀田遺跡。このころ、田間出土の小銅鐸がつくられる。
239	弥生時代後期	○邪馬台国女王卑弥呼、魏に使を遣わし銅鏡100枚などを賜る。
300	古墳時代前期	○萩山遺跡・溜ノ台遺跡。方形周溝墓がつくられる。
400	古墳時代中期	○成沢遺跡に豪族の居館がつくられる。
400	古墳時代中期	○桑57号墳・茶臼塚古墳がつくられる。
500	古墳時代後期	○摩利支天塚古墳・琵琶塚古墳がつくられる。住居でのカマドの使用がはじまる。
600	古墳時代後期	○このころ、飯塚古墳群・牧ノ内古墳群・下泉古墳群などの群集墳が、市域で多くつくられる。
700	飛鳥時代	○このころ、下野薬師寺が創建される。
708	和銅元年	○和同開珎がつくられる。（飯塚44号墳から出土）
741	天平13年	○聖武天皇、全国に国分寺・国分尼寺の設置を詔する。
747	天平19年	○このころ下野国分僧寺・国分尼寺が創建される。
761	天平宝字5年	○下野薬師寺に戒壇が設置される。（乙女不動原瓦窯から、薬師寺に瓦が供給された）
770	宝亀元年	○弓削道鏡、下野薬師寺の別当となる。
773	宝亀4年	○下野国府に火災がおこり、正倉14棟とたくさんの穀物を焼失する。
916	延喜16年	○朝廷、下野国府に藤原秀郷ら18人の配流を重ねて下知する。
927	延長5年	○『延喜式』成る。その神名帳の中に、安房神社（粟宮）・胸形神社（寒川）・高椅神社（高椅）が記載される。
929	延長7年	○下野国府、朝廷に藤原秀郷らの乱暴を訴え、近国5ヶ国に出兵の官符が出される。
930	延長8年頃	○『和名類聚抄』成る。その中に、都賀郡小山・生馬（生駒）、寒川郡真木（間々田付近）・池辺（寒川・網戸付近）の郷が見える。
939	天慶2年	○平将門が下野国府を攻略し、占拠する。
940	天慶3年	○藤原秀郷・平貞盛らが平将門を討ち取る。
1160	1160年頃	○小山政光が小山に居館を構える。
1180	治承4年	○源頼朝が挙兵。寒川尼（政光妻）、隅田宿の頼朝陣営に参向。
1183	寿永2年	○志田義広が鎌倉の頼朝に反旗をひるがえす。小山朝政らが野木宮の戦いでこれをやぶる。
1184	元暦元年	○小山朝政ら木曾義仲討伐に従軍し、つづいて摂津一の谷に平家の軍勢をやぶる。のち源範頼に従い九州におもむき転戦。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1187	文治3年	○寒川尼が寒川郡ならびに網戸郷の地頭職に補任される。
1189	文治5年	○頼朝が奥州藤原氏を討伐。小山朝政ら従軍。小山政光、宇都宮で頼朝に駄餉（食事）を献ずる。
1199	正治元年	○頼朝死去。梶原景時が諸将の弾劾を受け失脚。小山朝政が播磨国守護職となる。
1205	元久2年	○宇都宮頼綱が幕府から謀叛の嫌疑をかけられる。小山朝政が追討を命ぜられるが、これを拒否する。
1218	建保6年	○小山朝政が日光中宮祠に宝殿を寄進する。
1333	正慶2年	○鎌倉幕府滅亡。
1335	建武2年	○小山秀朝が武蔵府中に北条時行の軍勢と戦い戦死する。足利尊氏が後醍醐天皇に反旗をひるがえし、小山氏もこれに与する。
1337	建武4年	○北畠顕家が宇都宮に本拠において小山城を攻め、小山朝氏が捕らえられる。
1343	康永2年	○興良親王、大宝城から小山城に入る。
1372	応安5年	○小山義政が武蔵鷲宮神社を再興。
1376	永和2年	○小山義政が一族繁栄を願い、鷲宮神社に太刀を奉納する。
1380	康暦2年	○小山義政が蓑原（茂原）において宇都宮基綱と戦い戦死させる。鎌倉公方足利氏、これをとがめて小山を攻め、義政降伏する。
1381	永徳元年	○小山義政が鷲城に拠って再度挙兵するも、鎌倉公方に降伏する。
1382	永徳2年	○小山義政が三たび挙兵するも粕尾（粟野町）で自害。嫡子若犬丸は逃亡する。
1397	永徳4年	○小山若犬丸が鎌倉公方の軍勢に追い詰められ会津で自害する。
1397	永徳4年	○このころ結城基光の子泰朝、小山氏を再興する。
1440	永享12年	○結城氏朝が足利持氏の遺児を擁して挙兵。小山持政は結城城攻めに加わり戦功を挙げる。
1563	永禄6年	○上杉輝虎（謙信）が祇園城を攻略。小山秀綱は降伏し、人質を越後春日山城に送る。
1576	天正4年	○北条氏照が祇園城を攻略。小山秀綱は常陸に逃れる。
1582	天正10年	○小山秀綱、北条氏から祇園城への復帰を許される。
1590	天正18年	○豊臣秀吉が北条氏の小田原城を攻略、天下統一成る。小山秀綱は北条方に味方したため領地を没収される。
1600	慶長5年	○徳川家康が会津の上杉氏を征伐に向かう途中、石田三成が挙兵したとの報告を受け、小山で軍議を開く（小山評定）。この後に関ヶ原の戦いで勝利する。
1608	慶長13年	○本多正純、3万石余で小山に封ぜられる。また、小山市の北西部地域において、榎本藩主本多忠純が検地を行う。
1613	慶長18年	○小山市域において、小山藩主本多正純（忠純兄）が検地を行う。
1616	元和2年	○家康死去。
1617	元和3年	○家康の遺骸を駿河久能山より日光に改葬し、将軍秀忠が参詣。
1619	元和5年	○小山藩主本多正純が宇都宮へ転封。小山藩は廃藩となる。
1622	元和8年	○徳川秀忠が日光社参の際、小山御殿を休憩所として利用した。
1623	元和9年	○小山市域において、古河藩主永井直勝が検地を行う。
1637	寛永14年	○小山市東部地域において、幕府が検地を行う。
1663	寛文3年	○小山宿で大火。
1664	寛文4～5年	○小山市域において、古河藩主土井利重が検地を行う。
1682	天和2年	○小山御殿が解体された。
1689	元禄2年	○松尾芭蕉が「奥の細道」の旅に出、途中間々田宿に泊まる。下野国内では室の八島ほかを巡歴する。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1696	元禄9年	○日光街道の助郷制が確立する。
1744	延享元～3年	○思川・鬼怒川通りにおいて、幕府が流作場の検地を行う。
1749	寛延2年	○迫間田・寒川村、田方の儀につき強訴する。翌年名主が退役を命ぜられる。
1750	寛延3年	○小山宿と助郷22ヶ村の争論おこる。
1759	宝暦9年	○古河藩中郷（小山西部・大平東部の村々）で一揆おこる。
1771	明和8年	○小山市域で大ひでりがつづく。
1777	安永6年	○思川、雨降りにつき大満水となる。
1781	天明元年	○思川、雨降りにつき大満水となる。
1783	天明3年	○思川、雨降りにつき大満水となる。
1783	天明3年	○浅間山の大噴火で、小山市域にも火山灰が3～10cm降る。日中あかりが必要であったといわれる。
1786	天明6年	○思川、大満水となる。
1787	天明7年	○夏より秋まで大飢饉。黒本村では根・長芋・山芋などほりつくす。
1791	寛政3年	○古河領の百姓、年貢用捨米を願って乙女不動原へ集合する。
1800	寛政12年	○伊能忠敬が「蝦夷地測量」（第一次測量）の帰路 間々田宿に泊まる。
1801	享和元年	○伊能忠敬が「全国測量」（第二次測量）の帰路 間々田宿に泊まる。
1803	享和2年	○伊能忠敬が「全国測量」（第三次測量）の往路 間々田宿に泊まる。
1823	文政6年	○水戸藩士小山秀斐、日光代参後小山宿天翁院にて法事を行う。その翌日の旧臣御目見得を行う。
1827	文政10年	○関東御取締出役下山逢吉出張にて小山宿最寄42ヶ村組合結成される。
1833	天保4～7年	○天保の大飢饉。このころ村々の人口減少が極限に達し、全国的に農村が荒廃する。
1840	天保11年	○水戸藩主徳川斉昭の追鳥狩りに、小山氏の旧臣200人が参加する。
1862	文久2年	○坂下門外の変。大橋訥庵が連座する。
1864	元治元年	○水戸天狗党約300名が結城より小山に着く。壬生へ向かうが壬生藩の厳しい警備のため、飯塚宿に宿泊する。
1868	慶応4年	○生駒村へ近郷困窮人が集まり、付近の豪農に対し米金差し出しを強要する。
1868	明治元年	○戊辰戦争。旧幕府軍の大鳥圭介・土方歳三らが、小山で官軍と激戦をまじえる。
1871	明治4年	○各藩が県になる（廃藩置県）。下野国は栃木・宇都宮の2県となる。
1872	明治5年	○学制発布。小山郵便局が設けられる。
1873	明治6年	○宇都宮県が栃木県に合併される。
1873	明治6年	○地租改正条例布告。
1885	明治18年	○東北本線の大宮～宇都宮間開通。小山駅開業。
1888	明治21年	○両毛線の小山～足利間開通。
1888	明治21年	○市制・町村制が公布される。
1889	明治22年	○寒川郡が下都賀郡に編入される。
1889	明治22年	○町制が施行され、常光寺に町役場が置かれる。
1899	明治32年	○栃木新道ができ、思川に架橋される。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1911	明治44年	○小山町役場の庁舎落成。
1913	大正2年	○小山にはじめて電灯がつく。
1922	大正11年 4月 1日	○間々田村が町制を施行。
1926	大正15年 2月 24日	○琵琶塚古墳が国指定史跡となる。
1931	昭和6年	○日本無線電信、神鳥谷に小山送信所を開設。
1934	昭和9年	○小山駅が新築される。
1936	昭和11年 3月 31日	○栃木県庁焼失。
1936	昭和11年 11月	○観晃橋、木造からコンクリートの永久橋に改築。
1936	昭和11年 12月	○大谷村役場新築。
1938	昭和13年 7月	○小山・絹・穂積・間々田・生井の各地で水害発生。
1938	昭和13年 10月 3日	○栃木県庁再建。
1941	昭和16年 7月	○台風により生井地区に大被害。
1943	昭和18年	○足利銀行小山支店新築。
1944	昭和19年 4月	○県内への疎開者2万人を超える。
1944	昭和19年 11月	○小山駅前の強制疎開はじまる。
1945	昭和20年 3月	○小山町で大防空壕がつくられる。
1946	昭和21年 10月	○小山地区商工会議所の設立総会開催。
1947	昭和22年 3月	○豊田村で県内初の農地解放行われる。
1947	昭和22年 9月 5日	○昭和天皇、小山町を巡幸。
1947	昭和22年 9月 15日	○キャサリン台風、生井村に大きな被害を与える。
1948	昭和23年 3月	○小山町商店街で「三夜通り」の名称が使われはじめる。
1949	昭和24年 1月	○県内各市町村で第1回目の成人式が行われる。
1950	昭和25年 12月 15日	○東北本線と水戸線を結ぶ小山短絡線新設。
1951	昭和26年	○観晃橋南の思川河原を会場に「納涼花火大会」を開催。
1952	昭和27年 10月	○「第1回小山市菊花大会」を開催。
1953	昭和28年 2月	○絹村に県立結城紬指導所設置。
1954	昭和29年	○初代市長に山中泰輔氏就任。
1954	昭和29年	○日本専売公社葉たばこ再乾燥工場、稲葉郷に設立。
1954	昭和29年	○市営野球場完成する。
1954	昭和29年 3月 31日	○小山町・大谷村が合併して小山市誕生。
1955	昭和30年 2月 11日	○豊田、穂積、中村が合併して美田村誕生。
1955	昭和30年 4月 25日	○間々田町、生井村合併して、新しい間々田町誕生。
1955	昭和30年 11月	○「第1回小山市市民文化祭」を開催。
1955	昭和30年 12月 1日	○美田村大字外城、小山市に編入される。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1956	昭和31年 9月 30日	○寒川村、間々田町に合併、桑村、絹村と合併して桑絹村となる。
1956	昭和31年 10月 15日	○城山公園を開設。
1958	昭和33年	○東北本線上野～宇都宮間電化される。
1958	昭和33年	○山中市長再選。
1961	昭和36年	○市街地開発組合発足し、工場団地造成に着手する。
1961	昭和36年 7月 1日	○桑絹村が町制を施行。
1961	昭和36年 11月	○「小山工業団地」の造成工事を開始。(昭和36年12月より分譲を開始)
1962	昭和37年	○山中市長3選。
1962	昭和37年 5月 1日	○小山第一保育所開所。
1962	昭和37年 10月	○「小山外城工業団地」の造成工事を開始。(昭和37年10月より分譲を開始)
1963	昭和38年 4月 18日	○間々田町及び美田村、小山市に合併する。
1964	昭和39年 10月 31日	○市役所庁舎、大字小山2315番地に竣工する。(現中央町1丁目1番1号)
1964	昭和39年 11月 25日	○市制施行10周年記念祝賀式を開催。
1965	昭和40年 4月 1日	○住居表示の実施により小山、稲葉郷、神明町の一部が「中央町1～3丁目、若木町1～2丁目、城山町1～3丁目」等に町名が変更される。
1965	昭和40年 4月 10日	○小山第二保育所開所。
1965	昭和40年 4月 13日	○寒川出張所改築工事完成。
1965	昭和40年 4月 24日	○小山工業高等専門学校開校。
1965	昭和40年 8月 27日	○小山地区し尿処理場竣工。
1965	昭和40年 9月 30日	○桑絹町小山市に合併。
1965	昭和40年 10月 10日	○小山バイパス開通(現国道4号)。
1966	昭和41年 3月 1日	○小山市農協発足。
1966	昭和41年 3月 31日	○間々田八幡公園を開設。
1966	昭和41年 4月 29日	○山中市長4選。
1966	昭和41年 8月 1日	○少年補導センター開設。
1967	昭和42年 4月 1日	○市民相談室を開設。
1967	昭和42年 4月 1日	○小山・間々田・美田農業共済組合合併。
1968	昭和43年 2月 23日	○小山市消防本部庁舎開庁。
1968	昭和43年 3月	○小山市内に都市ガスの供給開始。
1968	昭和43年 4月 23日	○社会福祉法人小山市社会福祉協議会発足。
1968	昭和43年 5月 21日	○間々田局の電話自動化。
1968	昭和43年 7月 14日	○市営野球場横倉工場団地に仮移設。
1968	昭和43年 7月 31日	○小山高等学校が甲子園初出場。
1968	昭和43年 7月 31日	○中央町1丁目X字型横断歩道橋完成。
1968	昭和43年 10月 1日	○両毛線電化。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1968	昭和43年 12月 23日	○南半田住宅団地を小山市扶桑町とする。
1969	昭和44年 1月 6日	○小山駅東臨時改札口が出来る。
1969	昭和44年 3月 31日	○駅東公園を開設。
1969	昭和44年 5月 10日	○小山市交通指導員制度が発足、19名が委嘱される。
1969	昭和44年 6月 10日	○小山市の人口10万人となる。10万人目の方へ市からベビーカーを贈る。
1969	昭和44年 12月 23日	○小山第一小学校移転新築工事竣工。
1970	昭和45年 3月 13日	○小山市から暴力を追放して「明るく住みよい小山市の建設」を議会で議決し市・町内ぐるみ運動を展開する。
1970	昭和45年 4月 29日	○市長に栗田政夫氏初当選。
1970	昭和45年 5月 1日	○ごみの収集を一部民間委託。
1970	昭和45年 6月 10日	○住居表示の実施により稲葉郷、喜沢、小山地区の一部が、「若木町3丁目、駅東通り1～2丁目」に町名が変更される。
1970	昭和45年 6月 13日	○間々田保育所が完成。
1970	昭和45年 6月 16日	○千駄塚で運搬中の塩素ガスが爆発。
1971	昭和46年 1月 20日	○蒸気機関車C50小山号駅東公園へ展示。
1971	昭和46年 1月 26日	○市立小山病院の新病棟が完成。
1971	昭和46年 2月	○アカシヤコース（ハイキングコース）が完成。
1971	昭和46年 2月	○「小山第二工業団地」の造成工事を開始。（昭和46年7月より分譲を開始）
1971	昭和46年 3月	○「小山市振興計画基本構想及び第一期基本計画」策定。
1971	昭和46年 4月 27日	○小山市と喜連川町の両穂積が姉妹地区の縁結びを行う。
1971	昭和46年 6月 15日	○老人福祉センター開設。
1971	昭和46年 7月 26日	○市、企業二者間の公害防止協定を締結。
1971	昭和46年 10月	○小山市の市旗を制定。
1971	昭和46年 10月 12日	○東北新幹線小山駅停車が決定。
1972	昭和47年 1月 1日	○老人医療費の公費負担が実現。
1972	昭和47年 2月 7日	○小山市のスローガン「伸ばそう小山、築こう文化」が決まる。
1972	昭和47年 4月 1日	○小山園芸高校開校。（現・小山北桜高校）
1972	昭和47年 4月 1日	○小山市武道館開館。
1972	昭和47年 4月 1日	○小山市消防署桑分遣所開庁。
1972	昭和47年 4月 1日	○小山第三保育所開所。
1972	昭和47年 4月 1日	○乳児医療費の無料化実現、同10月1日所得制限が撤廃される。
1972	昭和47年 4月 3日	○間々田公民館改築工事が完成。
1972	昭和47年 4月 6日	○小山第一小学校と小山第二小学校に市内初のスクールゾーンが設定される。
1972	昭和47年 6月 1日	○勤労青少年ホーム開館。
1972	昭和47年 6月 1日	○栃木県紬織物指導所移転改築工事が完成。
1972	昭和47年 7月 14日	○間中地内でナウマン象の第3臼歯の化石が発見される。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1972	昭和47年 7月 15日	○小山地区広域行政圏が指定される。(小山市、野木町、国分寺町、南河内町)
1972	昭和47年 7月 17日	○小山大橋が開通。
1972	昭和47年 12月 25日	○東北新幹線の建設に着工。
1973	昭和48年 2月 21日	○城南宅地造成事業の保留地公売に上限価格を設定。(全国で初めて)
1973	昭和48年 2月 22日	○田川放水路が完成。
1973	昭和48年 3月 31日	○小山運動公園を開設。
1973	昭和48年 3月 31日	○あさひ公園を開設。
1973	昭和48年 3月 31日	○あけぼの公園を開設。
1973	昭和48年 4月 1日	○住居表示の実施により小山地区の一部が「駅南町1～6丁目」に町名が変更される。
1973	昭和48年 4月 1日	○旭小学校開校。
1973	昭和48年 4月 1日	○小山土地開発公社が市庁舎内に発足。
1973	昭和48年 4月 1日	○小山市消防署豊田分遣所開庁。
1973	昭和48年 5月 31日	○間々田中学校で市内初の光化学スモッグの被害者が出る。
1973	昭和48年 7月	○プール未設置校9校にプール完成。
1973	昭和48年 9月 23日	○運動公園に初めての施設として野球場がオープン。
1973	昭和48年 11月 1日	○住居表示の実施により扶桑町地区の一部が「扶桑1～3丁目」に町名が変更される。
1974	昭和49年	○昭和48年の交通事故発生状況が発表され全国10万人以上の都市における交通事故死亡率が全国一となる。
1974	昭和49年 1月	○延島小学校に交通安全教育センターが完成。
1974	昭和49年 3月	○「小山市振興計画第二期基本計画」策定。
1974	昭和49年 4月 1日	○白鷗女子短期大学開校。
1974	昭和49年 4月 21日	○栗田市長再選。
1974	昭和49年 5月 1日	○城東保育所開所。
1974	昭和49年 6月	○小山第二小学校、豊田北小学校の改築工事が完成し、新校舎に移転。
1974	昭和49年 6月 1日	○もみじ保育所開所。
1974	昭和49年 6月 12日	○第二工業団地の企業と市の間で公害防止協定に調印。
1974	昭和49年 6月 20日	○勤労青少年ホームに体育センターが完成。
1974	昭和49年 9月	○「小山第三工業団地」の造成工事を開始。(昭和50年1月より分譲を開始)
1974	昭和49年 10月	○スポーツ事故見舞金制度が出来る。
1974	昭和49年 10月	○自然災害に弔慰金と救護資金貸出制度が出来る。
1974	昭和49年 10月	○小山地区保険予防組合が休日急患医科診療所を開設。
1974	昭和49年 11月 23日	○小山おはやし振興会で初のおはやしコンクール実施。
1975	昭和50年 1月 1日	○住居表示の実施により間々田、乙女地区の一部が「暁1～3丁目」に町名が変更される。
1975	昭和50年 3月	○小山地区広域行政事務組合による中央清掃センター(外城、ごみ焼却施設80t/日)完成。
1975	昭和50年 4月 1日	○小山運動公園に陸上競技場がオープン。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1975	昭和50年 4月 1日	○出井街道（市道13号）の東北線との立体交差が完成。
1975	昭和50年 4月 1日	○法務大臣より間々田地区が「人権モデル地区広域指定」される。
1975	昭和50年 4月 3日	○乙女小学校開校。
1975	昭和50年 5月 12日	○中久喜保育所開所。
1975	昭和50年 10月	○あさひ地区が県のモデルコミュニティ第1号に指定される。
1975	昭和50年 11月 23日	○小山市桑養蚕組合養蚕部門で天皇杯を受賞。
1976	昭和51年 2月 5日	○長崎屋小山店において特設行政相談所を開設。
1976	昭和51年 3月 28日	○「第1回関東郷土芸能おはやしコンクール」を開催。
1976	昭和51年 3月 31日	○小山第二中学校増改築工事が完成。
1976	昭和51年 4月 1日	○桑絹地区有線放送廃止。
1976	昭和51年 4月 1日	○「小山市史」編さん事業がはじまる。
1976	昭和51年 4月 1日	○老人向け貸農園スタート。
1976	昭和51年 4月 6日	○第48回全国選抜高校野球大会で小山高等学校が準優勝。
1976	昭和51年 5月 31日	○網戸保育所開所。
1976	昭和51年 6月 1日	○水処理センター通水式。（若木町、八幡町、天神町の各1、2丁目、花垣町1丁目の一部で供給開始）
1976	昭和51年 7月 29日	○小山高等学校が2回目の甲子園出場となる。
1976	昭和51年 8月 15日	○豊田南小学校が改築完成。
1976	昭和51年 10月 1日	○ひとり暮らしの老人を対象に福祉電話スタート。
1976	昭和51年 12月	○「小山市振興計画基本構想及び前期基本計画」策定。
1977	昭和52年 1月 28日	○乙女不動原瓦窯跡確認調査行われる。
1977	昭和52年 4月 1日	○社会福祉協議会で、高額療養費等のつなぎ資金の貸付はじまる。
1977	昭和52年 4月 4日	○小山城東小学校開校。
1977	昭和52年 4月 5日	○羽川西小学校開校。
1977	昭和52年 4月 11日	○若木保育所開所。
1977	昭和52年 8月 18日	○洪水により観晃橋が陥没。
1977	昭和52年 9月 1日	○旧紬織物指導所が絹文化研修所にころも替え。
1977	昭和52年 10月 27日	○黒本橋開通。（旧黒本橋の約1キロメートル上流）
1977	昭和52年 12月 24日	○小山市文化協会が発足。
1973	昭和53年 3月 31日	○城東公園を開設。
1978	昭和53年 5月 3日	○市道喜沢一中久喜線の東北本線との立体交差仮開通。
1978	昭和53年 5月 4日	○出井保育所開所。
1978	昭和53年 5月 11日	○乙女不動原瓦窯跡が国指定史跡となる。
1978	昭和53年 5月 31日	○小山駅舎新装なる。
1978	昭和53年 6月 5日	○東北新幹線の試運転はじまる。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1978	昭和53年 7月 10日	○中央市民会館オープン。
1978	昭和53年 7月 10日	○市民憲章、市の花（オモイガワザクラ）、市の木（シラカシ）、市の鳥（セグロセキレイ）、市歌、小山音頭を制定。
1978	昭和53年 7月 21日	○摩利支天塚古墳が国指定史跡となる。
1978	昭和53年 7月 31日	○小山郵便局が城山町3丁目から城東1丁目に移転。
1978	昭和53年 8月 1日	○市立図書館開館。
1978	昭和53年 8月 15日	○中小学校・穂積小学校の全面改築完成。
1978	昭和53年 10月 17日	○住居表示の実施により小山、泉崎、土塔、稲葉郷地区の一部が「城東1～7丁目」に町名が変更される。
1979	昭和54年	○小山市の工業生産額が宇都宮市を抜き県内1位となる。（53年工業統計調査）
1979	昭和54年 1月 15日	○「第1回市民マラソン大会」を開催。
1979	昭和54年 2月	○間々田駅の橋上化完成。
1979	昭和54年 3月	○中央清掃センター粗大ごみ処理施設（40t/日）完成。
1979	昭和54年 3月 31日	○乙女上町公園を開設。
1979	昭和54年 4月 7日	○小山南高等学校開校。
1979	昭和54年 5月 9日	○間々田北保育所開所。
1979	昭和54年 5月 11日	○小山市消防署新聞々田分署開庁。
1979	昭和54年 5月 25日	○第1回防犯運動実施。
1979	昭和54年 6月 30日	○小山運動公園にクラブハウス完成オープン。
1979	昭和54年 11月 23日	○県内で初めてボランティアグループにより「わたぼうしコンサート」開かれる。
1979	昭和54年 12月 7日	○東北新幹線小山試験線で電車のスピード世界新記録 時速319kmをマーク。
1980	昭和55年 1月 1日	○市立小山病院と下都賀郡市第2医師会病院が統合し小山市民病院誕生。
1980	昭和55年 3月 1日	○在宅寝たきり老人のためにディサービス事業開始。
1980	昭和55年 4月 1日	○中公民館が南小林から下河原田の現在地へ新築移転。
1980	昭和55年 4月 4日	○小山第三中学校開校。
1980	昭和55年 4月 5日	○あけぼの保育所開所。
1980	昭和55年 4月 13日	○駅南児童センター開館。
1980	昭和55年 4月 17日	○島田橋開通。
1980	昭和55年 5月	○5月2～5日に中央市民会館で「ミレーとバルビゾンの画家たち展」が行われ入場者数12,945人にのぼる。
1980	昭和55年 5月 31日	○間々田小学校老朽危険校舎増改築工事完成。
1980	昭和55年 7月	○ボランティア連絡協議会発足。
1980	昭和55年 10月	○10月12～17日に「栃の葉国体秋季大会」が開催される。（小山市はウェイトリフティング、テニスの2種目を実施）
1980	昭和55年 10月	○小山地区保険予防組合が休日急患歯科診療所を開設。
1980	昭和55年 11月 2日	○全日本吹奏楽コンクールで間々田中学校が銀賞を獲得。
1980	昭和55年 12月 16日	○立木満願寺の朝日松（県指定天然記念物）が枯死のため指定解除。
1981	昭和56年 3月	○「国土利用計画小山市計画」策定。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1981	昭和56年 3月	○「小山市振興計画後期基本計画」策定。
1981	昭和56年 4月	○城北保育所開所。
1981	昭和56年 4月	○大谷公民館の建替工事完成開館。
1981	昭和56年 4月	○市役所第二庁舎（旧郵便局舎）へ福祉部、教育委員会が移転。
1981	昭和56年 4月	○特定行政庁を設置、建築確認を市で実施。
1981	昭和56年 4月 3日	○小山第三小学校開校。
1981	昭和56年 4月 28日	○移動図書館巡回開始。
1981	昭和56年 6月	○小山西変電所が本郷町1丁目に完成。
1981	昭和56年 6月 26日	○小山中学校が新設移転。
1981	昭和56年 9月	○小山のおはやしがハワイでの「アロハウィーク」に招待参加し活躍。
1981	昭和56年 10月	○助役二人制スタート。新助役に長瀬親次郎氏が就任。
1981	昭和56年 11月	○「第1回評定マラソン」を開催。
1982	昭和57年 1月	○小山地区環境衛生センター増設工事完成稼働開始。
1982	昭和57年 1月	○福祉タクシー制度スタート。
1982	昭和57年 4月	○小山城南小学校開校。
1982	昭和57年 4月	○城北児童センター開館。
1982	昭和57年 4月	○桑公民館の建替工事完成開館。
1982	昭和57年 6月 23日	○東北新幹線暫定大宮駅始発として開業同日小山駅開業。
1982	昭和57年 6月 29日	○羽川西浄水場仮通水。
1982	昭和57年 10月 1日	○10月1～24日市民会館において当市出身の「菊川京三翻刻模写絵展」開催。
1982	昭和57年 11月 1日	○保健・福祉センター開館。
1982	昭和57年 11月 1日	○小山市民病院増改築完成。
1983	昭和58年 3月 1日	○小平久雄元衆議院議員の名誉市民顕彰式を開催。
1983	昭和58年 3月 13日	○市立博物館開館。
1983	昭和58年 3月 31日	○神久保公園を開設。
1983	昭和58年 4月	○広域行政、保健予防、環境衛生の3組合を統合し小山広域保健衛生組合が発足。
1983	昭和58年 4月	○小山職業訓練短期大学校開校。
1983	昭和58年 4月	○穂積公民館の建替工事完成開館。
1983	昭和58年 4月 5日	○小山城北小学校開校。
1983	昭和58年 5月	○桑中学校増改築工事完了。
1983	昭和58年 6月	○全国第1号の羽川歩道橋が取り壊される。
1983	昭和58年 7月	○萱橋小学校増改築工事完了。
1983	昭和58年 8月	○間々田中学校吹奏楽部と間々田青少年吹奏楽団がイギリスの国際青少年音楽祭に招待出演。
1983	昭和58年 9月	○市シルバー人材センターが業務開始。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1983	昭和58年 9月 12日	○雇用促進住宅雨ヶ谷宿舍竣工。
1983	昭和58年 11月	○羽川西小学校PTAが文部大臣賞受賞。
1983	昭和58年 11月 1日	○小山市消防署大谷分署開庁。
1984	昭和59年 1月	○市青年会館が横倉地内に開館。
1984	昭和59年 2月 20日	○豊田公民館建替工事完成開館。
1984	昭和59年 3月 31日	○原之内公園を開設。
1984	昭和59年 4月	○若木小学校、間々田東小学校開校。
1984	昭和59年 4月	○体の不自由な人への市立図書館の宅配制度がスタート。
1984	昭和59年 4月	○網戸小学校の移転、全面増改築工事が完成。
1984	昭和59年 7月	○KDDの小山新中央局舎が完成。
1984	昭和59年 8月 6日	○住居表示の実施により小山、神鳥谷地区の一部が「三峯1～2丁目、神山1～2丁目」に町名が変更される。
1984	昭和59年 8月 21日	○栗田市長退任。
1984	昭和59年 9月 30日	○市長選挙で小林武夫氏当選。
1984	昭和59年 10月	○水道事業第三次拡張工事完成通水式。
1984	昭和59年 11月	○扶桑水処理センターで通水式。
1984	昭和59年 11月 14日	○市制30周年記念式典を開催。
1984	昭和59年 12月	○小山市交響吹奏楽団が「アフリカ飢餓救援コンサート」を開催。
1985	昭和60年 1月 26日	○「第1回健康まつり」を開催。
1985	昭和60年 2月	○中央公民館のテークライブラリーが開始。
1985	昭和60年 3月 14日	○国道50号線小山～岩舟間バイパスが暫定二車線で開通。
1985	昭和60年 3月 14日	○東北新幹線暫定上野駅始発として営業開始。
1985	昭和60年 12月	○「小山市行政改革大綱」を策定。
1986	昭和61年 2月 2日	○住居表示の実施により間々田、乙女地区の一部が「乙女1～2丁目」に町名が変更される。
1986	昭和61年 2月 25日	○小山市消防署新桑分署開庁。
1986	昭和61年 3月	○「小山市振興計画基本構想及び前期基本計画」策定。
1986	昭和61年 3月	○中央清掃センターごみ焼却施設(160t/日)が完成。
1986	昭和61年 4月 1日	○小山西高等学校開校。
1986	昭和61年 4月 1日	○白鷗大学(経営学部)開校。
1986	昭和61年 12月 10日	○新4号国道(鉢形～国道50号線間)が暫定二車線で開通。
1987	昭和62年 2月 2日	○住居表示の実施により乙女地区の一部が「乙女3丁目」に町名が変更される。
1987	昭和62年 3月 1日	○住居表示の実施により神鳥谷、栗宮地区の一部が「神鳥谷1～6丁目、栗宮1～2丁目」に町名が変更される。
1987	昭和62年 3月 16日	○建設省宇都宮国道工事事務所小山出張所が開所。
1987	昭和62年 3月 31日	○自由ヶ丘公園を開設。
1987	昭和62年 4月 3日	○小山城南中学校開校。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1987	昭和62年 7月	○「小山市梁工業団地」の造成工事を開始。(昭和62年11月より分譲を開始)
1987	昭和62年 10月 2日	○山中泰輔元市長、栗田政夫元市長の名誉市民顕彰式を開催。
1988	昭和63年 1月 6日	○図書館コンピューター導入。
1988	昭和63年 3月 29日	○小山聖苑完成。
1988	昭和63年 4月 5日	○乙女中学校開校。
1988	昭和63年 5月 20日	○小山市消防署新豊田分署開庁。
1988	昭和63年 7月 13日	○市長選挙で船田章氏当選。
1988	昭和63年 10月 31日	○中島橋開通。
1989	平成元年 1月 26日	○小山市生涯教育推進本部設置。
1989	平成元年 2月 27日	○小山市庁舎別館完成。
1989	平成元年 4月 1日	○小山市まちづくり協会設立。
1989	平成元年 7月 15日	○延島小学校改築工事完成。
1989	平成元年 10月 26日	○市制35周年記念式典を開催。
1989	平成元年 11月 2日	○人口14万人突破。
1989	平成元年 11月 23日	○「産業フェスティバル小山35」を開催。
1990	平成2年 3月	○3月6～11日に文化センターで「小山市ゆかりの美術展」が開かれる。
1990	平成2年 3月	○「グリーンタウン小山南」の造成工事を開始。(平成8年11月より分譲を開始)
1990	平成2年 3月 31日	○思川緑地を開設。
1990	平成2年 7月 1日	○老人福祉センター巡回バス運行開始。
1990	平成2年 9月 15日	○銀の店事業スタート。
1990	平成2年 10月 3日	○「思川シンポジウム」を開催。
1990	平成2年 10月 14日	○「ビーフピア思川inおやま」を開催。
1991	平成3年 3月	○「小山市振興計画後期基本計画」策定。
1991	平成3年 3月 12日	○小山氏城跡鷲城跡、祇園城跡が国指定史跡となる。
1991	平成3年 4月	○「小山市女性行動計画」策定。
1991	平成3年 6月 18日	○市内の男性が108歳で男性長寿日本一となる。
1991	平成3年 7月	○7月27・28日に「第1回サマーフェスティバル」を開催。
1991	平成3年 8月 3日	○「第1回フェスタin鬼怒川」を開催。
1991	平成3年 8月 18日	○「小山・野木地区暴力追放総決起大会」を開催。
1991	平成3年 10月 1日	○体育施設使用予約オンライン化スタート。
1992	平成4年 1月	○「小山東部産業団地」の造成工事を開始。(平成7年6月より分譲を開始)
1992	平成4年 2月 4日	○「第1回小山市文化振興大会」を開催。
1992	平成4年 3月	○「小山市超長期ビジョン(西暦2020年に向けて)」策定。
1992	平成4年 3月 2日	○住居表示の実施により中久喜地区の一部が「中久喜1～5丁目」に町名が変更される。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1992	平成4年 3月 13日	○健康都市おやま宣言。
1992	平成4年 3月 31日	○希望ヶ丘公園を開設。
1992	平成4年 4月 1日	○小山市財務会計（電子決裁）システムがスタート。
1992	平成4年 4月 1日	○外国人相談窓口を開設。
1992	平成4年 4月 8日	○新4号国道全線開通。
1992	平成4年 7月 1日	○平和都市宣言。
1992	平成4年 7月 5日	○船田市長再選。
1992	平成4年 7月 30日	○観覧橋が4車線化全面開通。
1992	平成4年 8月 6日	○全日本少年軟式野球大会で桑中クラブが全国制覇。
1992	平成4年 8月 19日	○全国中学生重量挙げ選手権大会で小山の中学生が4階級制覇。
1992	平成4年 10月	○栃木県庁小山庁舎が開設、小山保健所など5つの事務所が入所。
1993	平成5年 3月	○「小山市地域情報化構想」を策定。
1993	平成5年 3月 11日	○国道50号小山高架線2車線併用開始。
1993	平成5年 3月 31日	○小山総合公園を開設。
1993	平成5年 4月	○市庁舎完全週休二日制実施。
1993	平成5年 4月 1日	○「小山市みどりのまちづくり条例」施行。
1993	平成5年 4月 3日	○中央図書館小山分館開館。
1993	平成5年 4月 5日	○絹保育所が改築され開所。
1993	平成5年 4月 22日	○中央図書館が開館。
1993	平成5年 6月	○6月12・13日に県民の日記念行事「ハートフルおやま'93」開催。
1993	平成5年 7月 16日	○県立県南体育館開館、ふれあい橋オープン。
1993	平成5年 8月	○平成5年度全国高等学校総合体育大会、栃木県開催。小山市においてバスケットボール、ウェイトリフティング競技が実施される。
1993	平成5年 9月 3日	○県南公設地方卸売市場開場。
1993	平成5年 10月	○本溪市へ小山市友好訪中団が訪問。両市間の友好都市交流について協議を行う。
1994	平成6年 1月	○在宅重度心身障害者デイケア事業スタート。
1994	平成6年 4月	○4月1～3日に「小山バルーンフェスタ」を開催。
1994	平成6年 4月 1日	○「小山市都市景観条例」施行。
1994	平成6年 6月 9日	○駅西再開発ビル「ロブレ」オープン。
1994	平成6年 6月 9日	○ロブレ内6階に「小山市立生涯学習センター」オープン。
1994	平成6年 7月 28日	○第76回全国高等学校野球選手権栃木大会で小山高等学校が3度目の甲子園出場となる。
1994	平成6年 10月	○本溪市から慰問恩市長一行が来市。小山市制40周年記念式典の会場にて、友好交流に関する協定書に調印。
1994	平成6年 10月 24日	○おやま百景ガイドブック初版発行。
1994	平成6年 10月 28日	○市制40周年記念式典を開催。
1995	平成7年 1月 17日	○阪神大震災の救助活動のため1月23～25日小山消防署員が神戸市へ出動。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1995	平成7年 2月 10日	○城南高校線立体交差が開通。
1995	平成7年 4月 5日	○4月5～30日阪神大震災救助活動へ県を代表して、市職員1名が神戸市長田区へ25日間派遣され救助活動を行う。
1995	平成7年 6月 25日	○市文化センターでNHK「のど自慢」の生中継が行われる。
1995	平成7年 7月 26日	○NHK「夏期巡回ラジオ体操」が小山総合運動公園で開催される。
1995	平成7年 8月 10日	○国道50号線の小山市内が全線4車線化となる。
1995	平成7年 10月	○10月29日に「民謡・民舞の祭典」、11月15日「道と文化のシンポジウム」が開催される。
1995	平成7年 10月 1日	○墓園やすらぎの森開園。
1995	平成7年 10月 16日	○小山市の人口15万人となる。15万人目の方へ市からベビーカーを贈る。
1995	平成7年 11月 8日	○寺野東遺跡が国指定史跡となる。以後、史跡整備事業に着手。
1995	平成7年 12月 1日	○JR近距離新幹線「なすの」誕生。
1996	平成8年 3月	○「第4次小山市振興計画基本構想及び前期基本計画」策定。
1996	平成8年 3月 2日	○住居表示の実施により間々田地区の一部が「東間々田1～3丁目」に町名が変更される。
1996	平成8年 7月 8日	○船田市長3選。
1996	平成8年 7月 15日	○絹地区を突風（ダウンバースト）が襲い、多くの被害が発生。
1996	平成8年 7月 30日	○県内市町村と災害時における市町村相互応援に関する協定締結。
1996	平成8年 8月	○アトランタオリンピックに本市出身の神山雄一郎選手（自転車競技）と堀越典昭選手（ウェイトリフティング）が出場。
1996	平成8年 8月	○市内の中学生11人が被爆地広島市を訪問し、初めて平和記念式典に参列。
1996	平成8年 9月	○中央清掃センター粗大ごみ処理施設（85t/日）が完成。
1996	平成8年 10月 1日	○小山東出張所開設。
1996	平成8年 10月 1日	○ごみの7分別収集がスタート。
1996	平成8年 10月 4日	○松原大橋開通。
1996	平成8年 10月 14日	○北関東・新潟地域連携軸推進協議会の枠組みで災害時における相互応援に関する要綱を施行。
1996	平成8年 10月 27日	○城東公園のまちかど広場の完成記念イベントを開催。
1996	平成8年 11月 13日	○「災害時における小山市と葛飾区との相互応援に関する協定」が締結され葛飾区との交流が始まる。
1997	平成9年 3月 8日	○区画整理事業に伴い、小山、神鳥谷、雨ヶ谷、栗宮地区の一部が「東城南1～5丁目、西城南1～7丁目」に町名が変更される。
1997	平成9年 4月 1日	○「小山市環境基本条例」施行。
1997	平成9年 4月 6日	○日曜日の窓口サービス業務開設。
1997	平成9年 4月 25日	○市内で初めて自主防災会が設立される（御殿町自主防災会）。
1997	平成9年 5月 18日	○羽川西小学校が学校環境緑化コンクールで文部大臣賞を受賞。
1997	平成9年 8月 1日	○小山総合公園にデイキャンプ場バーベキュー広場がオープン。
1997	平成9年 12月 1日	○（財）小山市体育協会設立。
1998	平成10年 3月 31日	○間々田美しが丘公園を開設。
1998	平成10年 4月 1日	○やはた保育所開所。
1998	平成10年 4月 1日	○「小山市自転車等の放置防止等に関する条例」施行。

年(西暦)	年 月 日	出来事
1998	平成10年 4月 25日	○国史跡乙女不動原瓦窯跡の整備事業が終了し、「乙女かわらの里公園」開園。
1998	平成10年 7月 6日	○栃木・小山合併協議会の初会合が小山グランドホテルで開かれる。
1998	平成10年 8月 19日	○大相撲小山場所が県南体育館で行われる。
1998	平成10年 8月 30日	○大雨により大雨災害対策本部が設置される。下生井地区等に避難勧告が出され、374人が市内小中学校に避難。
1998	平成10年 10月 17日	○第1回小山市総合防災訓練を市役所第2駐車場及び小山第一小学校校庭で実施。
1998	平成10年 10月 22日	○市環境課に電気自動車が納入される。
1999	平成11年 1月 13日	○バンコク・アジア大会自転車男子スプリント競争で本市出身の神山雄一郎選手が金メダルを獲得。
1999	平成11年 2月	○市内中学生による模擬議会が市役所議場で行われる。
1999	平成11年 3月 20日	○小山地域振興券が市内各所において交付される。
1999	平成11年 3月 31日	○小山市公式ホームページ開設。
1999	平成11年 4月 1日	○小山市ふれあい健康センターオープン。
1999	平成11年 6月 1日	○市民から直接市長へメッセージを送る「市長への手紙」を開設。
1999	平成11年 9月 20日	○郵政省から平成11年度上期のテレトピア構想モデル地域の指定を受ける。
1999	平成11年 11月	○「緑の基本計画」策定。
2000	平成12年 3月 4日	○区画整理事業に伴い、犬塚、土塔地区の一部が「犬塚1～5丁目」に町名が変更される。
2000	平成12年 3月 4日	○区画整理事業に伴い、神鳥谷地区の一部が「西城南5～6丁目」に町名が変更される。
2000	平成12年 3月 31日	○城南公園を開設。
2000	平成12年 4月 1日	○「テレビ小山放送」開局。
2000	平成12年 5月 28日	○石ノ上河川広場で初めての水防訓練実施。
2000	平成12年 7月 1日	○国指定史跡寺野東遺跡の保存整備事業がはじまる。
2000	平成12年 7月 16日	○市長選挙で大久保寿夫氏当選。
2000	平成12年 9月	○シドニーオリンピックのケイリンに本市出身の神山雄一郎選手が出場。
2000	平成12年 9月	○8月15日、9月24日の集中豪雨で若木町3丁目、喜沢を中心に市内でそれぞれ91件、73件の床下浸水。
2000	平成12年 10月 12日	○小山総合公園内に県立温水プール館オープン。
2000	平成12年 10月 14日	○区画整理事業に伴い、間々田、西黒田地区の一部が「美しが丘1～3丁目」に町名が変更される。
2000	平成12年 12月	○テレビ小山が、インターネット接続サービスを開始。
2000	平成12年 12月 31日	○「新世紀カウントダウンIN OYAMA」を開催。
2001	平成13年 1月 25日	○栃木県南2市10町公立図書館等の広域利用に関する協定締結。
2001	平成13年 3月	○「第4次小山市振興計画後期基本計画」策定。
2001	平成13年 3月	○「小山南工業団地」の造成工事を開始。(平成14年9月より分譲を開始)
2001	平成13年 4月	○市政モニター制度開始。
2001	平成13年 5月	○「田んぼの学校」が中小学校で開校。
2001	平成13年 6月	○市民ポスト設置。
2001	平成13年 6月 1日	○小山市民賞第1号として、川上知子さん(重量挙げ)を表彰。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2001	平成13年 6月 30日	○男女共同参画都市宣言。
2001	平成13年 6月 30日	○区画整理事業に伴い、稲葉郷、喜沢、犬塚地区の一部が「駅東通り3丁目、城北1～6丁目」に町名が変更される。
2001	平成13年 8月 7日	○小山氏城跡中久喜城が国指定史跡となる。
2001	平成13年 9月 2日	○栃木県小山市総合防災訓練が石ノ上河川広場で実施される。
2001	平成13年 10月	○本溪市へ小山市中学生中国派遣団が訪問。
2001	平成13年 12月 3日	○小山駅始発新幹線の運行開始。
2001	平成13年 12月 15日	○「桜の里親記念植樹祭」を開催。
2002	平成14年 1月	○汚泥再生処理センターが竣工。
2002	平成14年 2月	○顔写真付の小山市民証の発行を開始。
2002	平成14年 3月 31日	○地域女性史「小山に生きた女性たち」を発刊。
2002	平成14年 3月 31日	○犬塚公園を開設。
2002	平成14年 4月 1日	○小山市勤労者福祉会館及び男女共同参画センター開設。
2002	平成14年 6月	○台風6号により小宅橋が流失し、押切、中里、島田、塩沢地区等が冠水。
2002	平成14年 6月 1日	○8名の女性消防団員が誕生。
2002	平成14年 8月	○小山西高校が甲子園初出場、初勝利。
2002	平成14年 10月 1日	○市民病院でオーダーリングシステム導入・2次救急医療体制の整備。
2002	平成14年 10月 19日	○「第1回小山市女性模擬議会」を開催。
2003	平成15年 1月 6日	○小山市地域イントラネットが運用開始。
2003	平成15年 1月 24日	○小山の地酒統一ブランド名が「小山評定」に決定。
2003	平成15年 3月 17日	○国道50号の市内全線4車線化が完了。
2003	平成15年 3月 20日	○寒川小地内に市独自の地下水観測所を設置。
2003	平成15年 4月	○休日納税窓口相談を開設。
2003	平成15年 4月 5日	○民設民営化第1号「こぐま保育園」が開園。
2003	平成15年 5月 17日	○「第1回小山ブランド祭り」を開催。
2003	平成15年 6月 21日	○「第1回小山市男女共同参画フェア」を開催。
2003	平成15年 9月 18日	○中心市街地活性化事業で、白鷗大学生運営のジャズ喫茶「OMOIGAWA CAFE」がオープン。（現在は閉店）
2003	平成15年 10月 12日	○中小「NHK全国学校音楽コンクール」で銀賞を受賞。
2003	平成15年 10月 19日	○中心市街地活性化事業で「まちかど美術館」がオープン。
2003	平成15年 10月 23日	○間々田公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰を受賞。
2003	平成15年 11月 24日	○「第1回思川サケまつり」を開催。
2003	平成15年 12月 18日	○小山駅とロブレが連絡橋でつながる。
2004	平成16年 1月 1日	○「小山市生活安全に関する条例」施行。
2004	平成16年 1月 25日	○市制50周年記念オープン事業、市民能「小山安犬」を600年ぶりに復活させ公演。
2004	平成16年 3月	○「小山市長期ビジョン・新おやま21ビジョン」策定。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2004	平成16年 3月	○し尿処理施設「小山広域クリーンセンター」が完成。
2004	平成16年 3月 3日	○大沼（羽川）が親水公園として整備。
2004	平成16年 4月 1日	○「小山市環境美化条例」及び「小山市人権尊重の社会づくり条例」施行。
2004	平成16年 4月 1日	○駅東循環バスの本格運行を開始。
2004	平成16年 4月 23日	○中央図書館が「子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰受賞。
2004	平成16年 5月 13日	○本溪市何煥秋本市長一行が来市。5月13日から4日間、小山市市制50周年式典に参加。
2004	平成16年 5月 14日	○ケアンズ市マーガレット・ギル副市長一行が来市。5月14日から4日間、小山市市制50周年式典に参加。
2004	平成16年 5月 15日	○市制50周年記念式典を開催。
2004	平成16年 5月 15日	○市制50周年記念式典において船田章元市長の名誉市民顕彰式を開催。
2004	平成16年 5月 15日	○本格はとむぎ焼酎「小山物語」を発売。
2004	平成16年 6月	○パブリックコメント制度を導入。
2004	平成16年 6月	○6月12・13日に2年間をかけてグラウンドワークで整備を進めた「ほたるの館」が小山総合公園に完成、「第1回ほたるの館祭り」を開催。
2004	平成16年 7月 1日	○「小山市男女共同参画推進条例」施行。
2004	平成16年 7月 25日	○大久保市長再選。
2004	平成16年 8月 28日	○市制50周年記念事業として、「開運！なんでも鑑定団・出張鑑定in小山」を市文化センターにて公開録画が行われる。
2004	平成16年 9月	○9月18・19日に市制50周年記念事業「五街道どまん中サミット間々田宿大会」が開催され、袋井市・檀川村・大月市・大田原市・黒磯市・小山市が参加。
2004	平成16年 9月 5日	○小山をPRする「小山評定ふるさと大使」を創設。
2004	平成16年 9月 5日	○伊澤昭二氏（歴史研究家）、大橋ひろえ氏（俳優）、広澤克実氏（プロ野球解説者）、福田雄一氏（映画監督・脚本家）、森朱美氏（ソプラノ歌手）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2004	平成16年 10月	○10月1～11日に市制50周年記念企画美術展「山中仁太郎・飯田張2人展」を、市生涯学習センターにおいて開催。
2004	平成16年 10月 17日	○「第1回ハンドベルフェスタin OYAMA」を市文化センターで開催。
2004	平成16年 10月 25日	○プレミアム付小山市共通商品券を発売。
2004	平成16年 10月 30日	○国指定史跡「寺野東遺跡」の史跡整備が完了し「おやま縄文まつりの広場」として開園。
2004	平成16年 10月 30日	○「第1回寺野東遺跡縄文まつり」を開催。
2004	平成16年 11月 6日	○市制50周年記念事業「第14回小山市文化振興大会」において、舞踊劇「花は散り水は流れる」を上演。
2004	平成16年 11月 12日	○三遊亭円楽氏（落語家）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2005	平成17年 3月 15日	○小山城南中学校舎増築工事が完成。
2005	平成17年 4月 1日	○小学校英語教育構造改革特区事業の認定を受け、市内9小学校を研究推進校として、「英語科」の授業を実施。
2005	平成17年 4月 1日	○「小山市地区まちづくり条例」及び「小山市開発行為の基準に関する条例」施行。
2005	平成17年 5月 16日	○市民課自動受付システムの運用開始。
2005	平成17年 6月 16日	○中央町2丁目地内に子育て支援センターを開所。
2005	平成17年 7月 16日	○小山駅で「小山駅開業120周年記念イベント」が開催。
2005	平成17年 7月 20日	○美田中学校舎改築工事が完成。
2005	平成17年 8月 19日	○シニア元気回復トレーニングセンターが開所。
2005	平成17年 8月 23日	○ケアンズ市に8月23日から7日間、小山中佐伯校長を団長とする「第3回小山市中学生ケアンズ派遣団」を派遣。ケアンズ市内エスポラネードのフォガティ公園にて、「植樹奉納式典」を開催。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2005	平成17年 9月 3日	○小山市立美田中学校校舎改築。新校舎落成式。
2005	平成17年 9月 21日	○ケアンズステートハイスクール生徒一行が来市、羽川小にて「植樹式」を開催。
2005	平成17年 10月 1日	○国勢調査で人口が16万142人となり、県内第2位の都市となる。
2005	平成17年 10月 6日	○中央図書館内にビジネス支援コーナーを開設。
2005	平成17年 11月 1日	○小児初期救急医療を開始。
2005	平成17年 11月 1日	○県道小山結城線延伸部が開通。
2005	平成17年 12月 17日	○「とちぎ元気フォーラムin小山」が県南体育館で開催される。
2006	平成18年 1月 7日	○城南出張所が開所。
2006	平成18年 2月 4日	○間々田第二学童保育館が開所。
2006	平成18年 3月	○「第5次小山市総合計画」策定。
2006	平成18年 3月	○「小山市地域福祉計画」策定。
2006	平成18年 3月	○「小山市人権尊重の社会づくりに関する施策の基本方針」策定。
2006	平成18年 3月	○「小山市男女共同参画基本計画」策定。
2006	平成18年 3月 4日	○3月4・5日に古川龍生展において「小山の日」を開催。
2006	平成18年 3月 5日	○移動式天体望遠鏡搭載車「ほっしー★OYAMA」初披露。
2006	平成18年 3月 31日	○石ノ上河川広場を開設。
2006	平成18年 4月 1日	○英語教育推進特区事業を市内全小学校で実施。
2006	平成18年 4月 1日	○「小山市文化芸術振興条例」施行。
2006	平成18年 4月 1日	○市内27施設において初めて指定管理者制度を導入。
2006	平成18年 4月 22日	○下生井桜つつみ整備事業が完成。
2006	平成18年 4月 27日	○ケアンズ市マーガレット・ギル議員が、道の駅「思川」開所式に出席。
2006	平成18年 4月 29日	○道の駅「思川」がグランドオープン。
2006	平成18年 5月 15日	○ケアンズ市へ「小山市・ケアンズ市姉妹都市締結派遣団」を派遣し、姉妹都市盟約書に調印。
2006	平成18年 7月 1日	○絹ふれあいの郷を開所。
2006	平成18年 9月 23日	○「第1回おやま開運まつり」を開催。
2007	平成19年 1月 4日	○市民課、桑出張所、博物館に証明書自動交付機システムを導入。（博物館の証明書自動交付機システムは、間々田市民交流センターがオープンした平成21年以降は同センターに移設）
2007	平成19年 3月	○「小山市人権施策推進基本計画」策定。
2007	平成19年 3月	○「小山市文化芸術振興ビジョン」策定。
2007	平成19年 3月 12日	○羽川地区整備事業完成。（市道1513号線改良工事）
2007	平成19年 3月 23日	○小山市と白鷗大学が、相互の密接な連携と協力により、地域社会の発展を目指す協定書に調印。
2007	平成19年 3月 24日	○小山市まちの駅「思季彩館」をオープン。
2007	平成19年 3月 31日	○文化センターリニューアル工事が完成。
2007	平成19年 3月 31日	○市内全域に、光ケーブルによるケーブルテレビ放送施設を整備。
2007	平成19年 4月 1日	○副市長制スタート。新副市長に小久保吉雄氏が就任。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2007	平成19年 4月 1日	○農地・水・環境保全向上対策がスタート。
2007	平成19年 4月 6日	○美田中新屋内運動場が完成。
2007	平成19年 4月 11日	○文書館をオープン。
2007	平成19年 6月 1日	○安全安心等情報をメール配信スタート。
2007	平成19年 7月	○中央図書館農業支援サービス事業開始。
2007	平成19年 8月 13日	○小川家住宅、小山市文書館、若駒酒造が国の登録有形文化財に登録。
2007	平成19年 9月 15日	○「カスリーンメモリアル60inおやま」を道の駅「思川」で開催。
2007	平成19年 10月 7日	○「寒河尼地頭就任820年記念講演会」を文化センターで開催。
2007	平成19年 10月 17日	○須賀神社前歩道橋（通称太鼓橋）が老朽化のため撤去。
2007	平成19年 12月 1日	○「わたしの市民便利帳」を創刊。
2007	平成19年 12月 5日	○森谷真理氏（オペラ歌手）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2007	平成19年 12月 15日	○ロッセ成瀬投手・ヤクルト飯原選手歓迎パレードを小山駅西口から市役所間で開催。沿道には、約1万人のファンが熱い声援を送る。
2007	平成19年 12月 15日	○飯原蒼士氏（プロ野球選手）、成瀬善久氏（プロ野球選手）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2008	平成20年 1月 25日	○岩下淳子氏（ピアニスト）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2008	平成20年 2月 9日	○第2回おやま開運まつりの「歴史へのいざない」で、市民劇「小山評定」を上演。
2008	平成20年 2月 11日	○白鷗大学ハンドベルクワイア（ハンドベル演奏団体）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2008	平成20年 3月 1日	○地域コミュニティバス、駅西口始発の桑絹北路線・桑絹南路線と駅東口発の大谷東路線・大谷西路線が運行し、小山市バスネットワークの整備完了。
2008	平成20年 3月 18日	○間々田駅東口駅前広場が完成。
2008	平成20年 4月	○休日急患医科診療所を小山市民病院敷地内に移転し、小山地区夜間休日急患センターとして開設。
2008	平成20年 4月 7日	○旭小校舎増築工事完成式典を挙行。
2008	平成20年 4月 11日	○美田中学校改築事業完了式典を挙行。
2008	平成20年 5月 3日	○区画整理事業に伴い、乙女地区の一部が「南乙女1～2丁目」に町名が変更される。
2008	平成20年 6月 1日	○環境都市宣言。
2008	平成20年 7月 27日	○大久保市長3選。
2008	平成20年 8月 7日	○「利根川治水同盟治水大会」を開催。
2008	平成20年 8月 10日	○「図書館開館30周年記念式典」を挙行。
2008	平成20年 10月 1日	○「小山評定ふるさと応援基金条例」施行。
2008	平成20年 10月 22日	○小山市、野木町、小山農協による菜の花プロジェクト協定書締結。
2008	平成20年 11月 30日	○「第1回おもいがわ映画祭」を開催。
2008	平成20年 12月 2日	○緊急経済対策本部を設置。
2008	平成20年 12月 23日	○高谷裕亮氏（元プロ野球選手）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2009	平成21年 1月 25日	○間々田東小第二学童保育館開所。
2009	平成21年 1月 28日	○新型インフルエンザ対策本部を設置。
2009	平成21年 3月 26日	○間々田駅西口広場が完成、東口広場に「南飯田神田囃子の像」を設置。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2009	平成21年 4月 4日	○間々田市民交流センター（しらさぎ館）をオープン。
2009	平成21年 4月 4日	○小山市立車屋美術館開館。
2009	平成21年 4月 12日	○絹ふれあい広場完成式典挙行。
2009	平成21年 4月 12日	○「第1回おやま思川ざくらマラソン大会」を開催。
2009	平成21年 4月 23日	○定額給付金給付開始。
2009	平成21年 9月 1日	○市内公共施設33か所に「赤ちゃんの駅」設置。
2009	平成21年 10月 5日	○小池里奈氏（タレント・俳優）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2009	平成21年 10月 13日	○「中学生模擬議会」を開催。
2009	平成21年 10月 22日	○紹興市へ「小山市・紹興市友好交流関係都市締結訪問団」が訪問し、紹興市と「友好交流関係都市に関する協定書」に調印。
2009	平成21年 11月 14日	○市制55周年記念式典を開催。
2010	平成22年 3月 11日	○大沼（羽川）が国の「ため池百選」に選定。
2010	平成22年 3月 29日	○結城市と災害時における相互応援に関する協定締結。
2010	平成22年 4月	○「小山東工業団地」の造成工事を開始。（平成23年4月より分譲を開始）
2010	平成22年 4月 1日	○コンビニエンスストアでの収納代行業務を開始。
2010	平成22年 4月 1日	○市観光協会が一般社団法人として事業をスタート。
2010	平成22年 4月 1日	○小山市市民農園がオープン。
2010	平成22年 4月 9日	○「思川桜里親千本記念講演会」を開催。
2010	平成22年 6月 18日	○小山政光公と寒川尼のモニュメント完成。
2010	平成22年 7月 21日	○エコファミリー認定事業開始。
2010	平成22年 7月 21日	○西口彰子氏（オペラ歌手）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2010	平成22年 7月 27日	○「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」を設立。
2010	平成22年 9月 30日	○渡良瀬遊水地がラムサール条約潜在候補地に選定される。
2010	平成22年 10月 1日	○小山コミュニティバス「桑絹南北路線、大谷東西路線」のデマンドバス化。
2010	平成22年 10月 30日	○第1回グリーンツーリズム（農村宿泊体験ツアー）の実施。
2010	平成22年 11月 16日	○本場結城紬がユネスコ無形文化遺産に登録。
2010	平成22年 12月 18日	○「小山評定410年記念シンポジウム」を開催。
2011	平成23年 2月 1日	○本場結城紬着用推進事業（新成人購入補助）実施。
2011	平成23年 3月	○「小山市生涯学習推進計画」策定。
2011	平成23年 3月	○「第6次小山市総合計画」策定。
2011	平成23年 3月 11日	○東北地方太平洋沖地震発生、災害対策本部設置。
2011	平成23年 3月 23日	○「小山を100倍楽しめる本」刊行。
2011	平成23年 3月 25日	○マンガでわかる「小山ブランド」電子コミック版掲載。
2011	平成23年 4月 5日	○「思川桜・彼岸花第1回写真コンテスト」を実施。
2011	平成23年 4月 7日	○宮崎県大崎市へ復興支援のため短期職員派遣開始（第4次終了の平成23年5月13日まで延べ12名）。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2011	平成23年 4月 18日	○牧ノ内古墳から国内最大級の竪穴住居遺構発見。
2011	平成23年 4月 18日	○国土交通省関東地方整備局と災害時の情報交換に関する協定締結。
2011	平成23年 5月 18日	○宮城県東松島市へ復興支援のため職員の短期派遣開始（第50次終了の平成24年9月18日まで延べ180名）
2011	平成23年 6月 11日	○思川駅及び周辺整備事業完成。
2011	平成23年 7月 14日	○結城紬ユネスコ無形文化遺産代表一覧表記記載認定書伝達。
2011	平成23年 9月 8日	○柔道海老沼匡選手に市スポーツ特別賞授与。
2011	平成23年 9月 24日	○「一夜御殿まつり」を開催。
2011	平成23年 10月 1日	○小山市コミュニティバス「思川・豊田路線、中路線、寒川路線、生井路線」のデマンドバス化。
2011	平成23年 10月 9日	○第1回おやま検定実施。
2011	平成23年 10月 29日	○「小山評定武将列伝」刊行。
2011	平成23年 11月 3日	○宮城県大崎市と災害時相互応援協定締結。
2011	平成23年 11月 6日	○紹興市教育局一行が11月6日から2日間、小山市を訪問。小山第三中学校と樹人中学校との友好交流関係に調印。
2011	平成23年 11月 18日	○寒川公民館が優良公民館表彰（文科省）受賞。
2011	平成23年 12月 4日	○「本場結城紬ファッションショー」開催。
2012	平成24年 1月 27日	○小山高専と包括連携協定締結。
2012	平成24年 2月 14日	○大谷東小学校南校舎改築。新校舎落成記念式典。
2012	平成24年 2月 17日	○小山駅ビルに「しもつけ銘品館・サクラミチ」開店。
2012	平成24年 3月 21日	○県道栃木小山線立木工区4車線化供用開始。
2012	平成24年 4月 1日	○災害時相互応援協定に基づき宮城県大崎市へ建築士の資格を持つ職員の中・長期派遣開始（平成25年3月31日まで延べ2名）。
2012	平成24年 4月 7日	○小野塚イツ子記念館開館。
2012	平成24年 4月 14日	○巴波川決壊口祈念公園完成。
2012	平成24年 5月	○小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定事業開始。
2012	平成24年 5月 13日	○小山の歴史まんが「小山評定」発刊。
2012	平成24年 5月 13日	○県道粟宮喜沢線拡幅工事完成。
2012	平成24年 6月 23日	○小山駅中央自由通路（さくら道）開通。
2012	平成24年 7月 3日	○渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録となる。
2012	平成24年 7月 22日	○大久保市長4選。
2012	平成24年 7月 28日	○ロンドンオリンピック競泳男子400m個人メドレーで萩野公介選手が銅メダル獲得。
2012	平成24年 7月 29日	○ロンドンオリンピック柔道男子66kg級で海老沼匡選手が銅メダル獲得。
2012	平成24年 8月 4日	○小山市中・高校生消防サポーターズクラブ制度創設。
2012	平成24年 8月 16日	○海老沼匡選手（柔道）にスポーツ特別賞授与、小山評定ふるさと大使委嘱。
2012	平成24年 8月 24日	○「第1回小山の日本一ビールまつり」開催。
2012	平成24年 8月 24日	○萩野公介選手（競泳）にスポーツ特別賞授与、小山評定ふるさと大使委嘱。
2012	平成24年 10月 1日	○宮城県東松島市へ復興支援のため職員の中・長期派遣開始（第5次終了の平成28年3月31日まで延べ5名）

年(西暦)	年 月 日	出来事
2012	平成24年 11月 27日	○海老沼匡選手、萩野公介選手に市民栄誉賞授与。
2012	平成24年 12月 23日	○「小山御殿造営390年記念講演会」を開催。
2013	平成25年 2月 16日	○区画整理事業に伴い、犬塚、土塔、横倉新田地区の一部が「犬塚6～8丁目」に町名が変更される。
2013	平成25年 3月 14日	○第1回開運のまち『おやま』景観賞。公共の部大賞に小山駅中央自由通路と東口、民間の部大賞に録ミュージアム、自然景観特別賞に富士山を望む渡良瀬遊水地。
2013	平成25年 3月 26日	○小山城南市民交流センター（ゆめまち）オープン。
2013	平成25年 3月 27日	○城山町三丁目第一地区再開発ビル（城山・サクラ・コモン）竣工。
2013	平成25年 4月 1日	○地方独立行政法人「新小山市民病院」開院。
2013	平成25年 4月 1日	○統合型内部事務システム稼動。
2013	平成25年 4月 20日	○拡声器付き災害情報伝達システム運用開始。
2013	平成25年 5月 16日	○「小山市本場結城紬復興振興5カ年計画」策定。
2013	平成25年 5月 28日	○「いじめゼロ子どもサミット」開催、おやまっ子いじめゼロ宣言採択。
2013	平成25年 6月 18日	○小山市人口16万5千人に到達。
2013	平成25年 7月	○「小山第四工業団地」の造成工事を開始。（平成27年5月より分譲を開始）
2013	平成25年 7月 8日	○「小山市いじめ等防止市民会議」を開催。
2013	平成25年 8月	○8月2・3日に「第1回 こども小山評定」を開催。
2013	平成25年 8月	○8月9～11日に「アジア環境創造型稲作技術会議2013」を開催。
2013	平成25年 9月 17日	○小山市新消防本部庁舎開庁。
2013	平成25年 9月 21日	○「第1回 月見の宴」を開催。
2013	平成25年 10月 14日	○とちぎ元気グルメまつりin那須塩原で、みそ家米ぞうの「おやま和牛ステーキ串」がグランプリ。
2013	平成25年 10月 20日	○小山市市民活動センター「第1回おやま～るまつり」を開催。
2013	平成25年 11月 4日	○日本経済新聞社産業地域研究所が初めて実施した全国市区高齢化対応度調査において、小山市が全国総合1位。
2013	平成25年 11月 16日	○11月16日を「小山きものの日」に制定。
2013	平成25年 12月 7日	○一般県道小山下野線（出井工区）開通式。
2014	平成26年 2月 26日	○農作物及び農業施設への被害（2月14・15日の記録的大雪）に対する支援策発表実施。
2014	平成26年 3月	○「ラムサール条約湿地登録 渡良瀬遊水地の文化遺産」発行。
2014	平成26年 3月	○市制60周年記念「小山の歴史」発行。
2014	平成26年 3月 4日	○中公民館文部科学省の第66回優良公民館表彰。
2014	平成26年 3月 14日	○小山市人事異動で女性管理職の割合が24.5%に拡大。
2014	平成26年 3月 16日	○小山駅東口新駅前広場完成。
2014	平成26年 3月 21日	○区画整理事業に伴い、雨ヶ谷地区の一部が「雨ヶ谷町」に町名が変更される。
2014	平成26年 4月	○毎月8日を「おやま わ（和）食の日」に決定。
2014	平成26年 4月 1日	○「紬織士」職員採用。
2014	平成26年 4月 3日	○小山市人口対策戦略本部設置。
2014	平成26年 6月 26日	○スポーツ都市宣言。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2014	平成26年 9月 12日	○小山市女性職員開運塾設置。
2014	平成26年 10月	○市制60周年記念「小山市水利誌」刊行。
2014	平成26年 10月 1日	○小山市空き家バンク制度創設。
2014	平成26年 10月 2日	○茨城県結城市との友好都市盟約を締結。
2014	平成26年 10月 4日	○10月4～7日に「ねんりんピック栃木2014inおやま」を開催。
2014	平成26年 10月 26日	○市制60周年記念式典を開催。
2014	平成26年 10月 26日	○兵庫県西宮市、静岡県富士宮市、福井県あわら市、富山県南砺市と災害時相互応援協定締結。
2014	平成26年 10月 26日	○群馬県富岡市と「小山市と富岡市との災害時における相互応援に関する協定」締結。
2014	平成26年 10月 26日	○東京都世田谷区と大規模災害時における相互応援に関する協定締結。
2014	平成26年 11月 1日	○11月1～2日に「第1回OYAMAスイーツフェスタ」を開催。
2014	平成26年 11月 8日	○「第1回ツール・ド・おやま2014」を開催。
2015	平成27年 2月 7日	○2月7～9日に「とちぎ花フェスタ2015 inおやま」を開催。
2015	平成27年 3月	○乙女河岸完成。
2015	平成27年 3月	○小山市子ども・子育て支援事業計画の中で「小山市子どもの貧困撲滅5カ年計画」策定。
2015	平成27年 3月 7日	○白鷗大学と「災害時における避難者支援の協力に関する協定」を締結。
2015	平成27年 3月 25日	○紹興市へ3月25日から3日間、第2回小山市中学生紹興市派遣団が訪問。27日、小山城南中学校と紹興市元培中学校の友好交流関係に調印。
2015	平成27年 3月 30日	○小山市健康医療介護総合支援センターオープン。
2015	平成27年 4月 1日	○公衆無線LAN OYAMA FREE Wi-Fi開始。
2015	平成27年 4月 1日	○小山市初「女性消防吏員」2名採用。
2015	平成27年 4月 1日	○小山市税のペイジー納付取扱い開始。
2015	平成27年 6月 29日	○小山地区定住自立圏構想実現のために「中心市宣言」。
2015	平成27年 7月 1日	○「小山市路上喫煙の防止に関する条例」施行。
2015	平成27年 7月 3日	○北村悠氏（俳優・アイドル）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2015	平成27年 8月 29日	○小山御殿広場整備完了。
2015	平成27年 8月 31日	○駅西再開発ビル「ロブレ」の核店舗である「イズミヤ小山店」が閉店。
2015	平成27年 9月	○「るるぶ特別編集 小山」発行。
2015	平成27年 9月 3日	○「新・BS日本のうた」を文化センター大ホールで開催。
2015	平成27年 9月 9日	○9月9～10日平成27年9月関東・東北豪雨発生。
2015	平成27年 10月	○「小山市人口ビジョン」及び「小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定。
2015	平成27年 10月 15日	○おやまファイアーレディーズ第22回全国女性消防操法大会準優勝。
2015	平成27年 11月 14日	○石田節子氏（着物スタイリスト）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2015	平成27年 11月 23日	○政光くん・寒川尼ちゃんがゆるきゃら®グランプリ全国8位
2015	平成27年 12月	○小山地区夜間休日急患センター及び休日急患歯科診療所が小山市健康医療介護総合支援センター内に移転、小山地区夜間休日急患センターを夜間休日急患診療所として開設。
2015	平成27年 12月 22日	○区画整理事業に伴い、稲葉郷地区の一部が「駅東通り3丁目」に町名が変更される。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2016	平成28年 1月 4日	○新小山市民病院新築オープン。
2016	平成28年 3月	○「小山市地域医療推進基本計画」策定。
2016	平成28年 3月	○「第7次小山市総合計画」策定。
2016	平成28年 3月	○「小山市公共施設等総合管理計画」策定。
2016	平成28年 3月 1日	○住民票・印鑑登録証明書・戸籍証明書のコンビニ交付開始。
2016	平成28年 3月 1日	○兵庫県豊岡市と災害時における相互応援に関する協定締結。
2016	平成28年 3月 18日	○茨城県日立市、埼玉県新座市、愛知県豊川市、愛知県西尾市と災害時相互応援に関する協定締結。
2016	平成28年 3月 24日	○小山市消防署絹分遣所開庁。
2016	平成28年 3月 24日	○大谷東小学校西校舎増築。新校舎落成記念式典。
2016	平成28年 3月 28日	○桑市民交流センター（マルベリー館）オープン。
2016	平成28年 3月 30日	○間々田乙女排水機場完成。
2016	平成28年 3月 31日	○南部清掃センター完成。
2016	平成28年 3月 31日	○小山思いの森を開設。
2016	平成28年 4月	○「おやま英語教育のまち推進5か年計画」策定。
2016	平成28年 4月 1日	○小山市人事異動で女性の管理監督職の割合が過去最高の27.7%に拡大。
2016	平成28年 4月 7日	○栃木県下野市、野木町、茨城県結城市と小山地区定住自立圏形成協定締結。
2016	平成28年 5月 1日	○本場結城紬クラフト館がロブレ内1階にオープン。
2016	平成28年 5月 1日	○キッズランドおやまがロブレ内5階にオープン。
2016	平成28年 5月 14日	○間々田乙女排水機場が改築され竣工。
2016	平成28年 5月 21日	○「小山市高校生模擬議会」を開催。
2016	平成28年 6月 22日	○宇都宮大学との包括連携協力協定締結。
2016	平成28年 6月 24日	○おやま英語教育のまち子ども宣言。
2016	平成28年 6月 30日	○県立小山北桜高校と包括連携協定締結。
2016	平成28年 7月 1日	○C&K（アーティスト）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2016	平成28年 7月 24日	○大久保市長5選。
2016	平成28年 8月 31日	○国営かんがい排水事業「栃木南部地区」栃木南部農業水利事業所開設。
2016	平成28年 9月	○中央清掃センターにエネルギー回収推進施設（ごみ焼却時の蒸気を利用した発電設備を備えたごみ焼却施設70t/日）が完成。
2016	平成28年 9月 30日	○「小山市被災者住宅復旧支援条例」施行。
2016	平成28年 9月 30日	○リオ五輪銅メダリスト海老沼匡選手へ市民栄誉賞授与。
2016	平成28年 10月 3日	○小山いきいき好齢者相談窓口・応援サイト開設。
2016	平成28年 10月 18日	○「小山地区定住自立圏共生ビジョン」策定。
2016	平成28年 10月 31日	○リオ五輪金メダリスト萩野公介選手へ市民栄誉賞授与。同日に凱旋パレードを小山駅前から市役所間で開催。沿道を約6000人のファンが埋め尽くした。
2016	平成28年 11月 1日	○中央図書館にＩＣ図書館システムを導入。
2016	平成28年 11月 5日	○第1回中央図書館まつり開催。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2016	平成28年 12月 20日	○ロブレ内6階に宇都宮大学おやまサテライトプラザがオープン。
2017	平成29年 2月 7日	○生沼晴嗣氏（ヴィオラ奏者）、上保朋子氏（ヴァイオリン奏者）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2017	平成29年 3月 14日	○農林水産省関東農政局栃木南部農業水利事業所と災害時の相互協力に関する協定締結。
2017	平成29年 3月 22日	○栃木県真岡市、下野市、上三川町、壬生町、茨城県笠間市と原子力災害時における笠間市民の県外広域避難に関する協定締結。
2017	平成29年 3月 22日	○茨城県笠間市と災害時における相互応援に関する協定締結。
2017	平成29年 4月 1日	○おやま開運未来塾オープン。
2017	平成29年 4月 10日	○絹義務教育学校開校式。
2017	平成29年 4月 29日	○小山市まちの駅「思季彩館」リニューアルオープン。
2017	平成29年 5月 11日	○台湾高雄市教育局及び経済発展局と「友好交流協力に関する提案書」に調印。
2017	平成29年 7月 7日	○茨城県結城市、栃木県栃木市、下野市、野木町と災害時広域支援連携協定締結。
2017	平成29年 8月 21日	○村上新悟氏（俳優）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2017	平成29年 10月 16日	○関東どまんなかサミット会議へ加入。
2017	平成29年 10月 16日	○茨城県古河市、栃木県栃木市、野木町、埼玉県加須市、群馬県板倉町と災害時における相互応援に関する協定締結。
2017	平成29年 11月 4日	○コミュニティFM「おーラじ」開局。
2017	平成29年 11月 22日	○「とちぎ結婚支援センター小山」開設。
2017	平成29年 12月 27日	○岡島豪郎選手（野球）・大山悠輔選手（野球）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2018	平成30年 1月	○「小山市公共施設等マネジメント推進計画」策定。
2018	平成30年 3月	○「小山市国土強靱化地域計画」策定。
2018	平成30年 3月	○「小山市空家等対策計画」策定。
2018	平成30年 3月	○2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた「小山市インバウンド3か年計画」策定。
2018	平成30年 3月	○「小山市渡良瀬遊水地観光地化推進5か年計画」策定。
2018	平成30年 3月	○「第2期小山市本場結城紬復興振興5か年計画」策定。
2018	平成30年 3月 9日	○栃木ゴールデンブレーブス（プロ野球BCリーグ球団）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2018	平成30年 4月	○長谷部浩平四段が戦後初の栃木県出身プロ棋士となる。
2018	平成30年 4月	○移住体験住宅「おやま暮らしお試しの家」オープン。
2018	平成30年 4月	○小山御殿広場にて「中華蕎麦とみ田 富田治プレゼンツ最強ラーメン祭2018in小山」が開催される。
2018	平成30年 4月	○4～6月小山市版デスティネーションキャンペーン（DC）事業実施。
2018	平成30年 4月	○「小山東部第二工業団地」の造成工事を開始。（令和元年5月より分譲を開始）
2018	平成30年 4月 2日	○原動機付自転車ご当地ナンバー導入。
2018	平成30年 4月 21日	○国史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館開館。
2018	平成30年 7月	○白鷗大学が小山駅東口前に新棟増築。
2018	平成30年 7月 1日	○小山市開運スポーツ合宿所オープン。
2018	平成30年 7月 20日	○岡山県倉敷市へ復興支援のため職員の短期派遣開始（第7次終了の平成30年9月5日まで延べ14名）
2018	平成30年 10月 30日	○中央図書館が「Library of the Year 2018」優秀賞受賞。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2018	平成30年 10月 30日	○県と共同で「栃木県・小山市国民保護共同図上訓練」を実施。
2018	平成30年 11月 16日	○長谷部浩平四段（プロ棋士）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2019	平成31年 1月 21日	○埼玉県鴻巣市と災害時応援協定締結。
2019	平成31年 2月 24日	○「健康長寿はとむぎ100歳講演会・シンポジウム」を開催。
2019	平成31年 3月	○小山市・栃木市相互乗入による広域公営路線バスが実現。渡良瀬ライン運行開始。
2019	平成31年 3月	○「いのち支える小山市自殺対策計画」策定。
2019	平成31年 3月	○「小山市部活動等の在り方に関するガイドライン」策定。
2019	平成31年 3月 28日	○「間々田のじゃがまいた」が国重要無形民俗文化財に指定。
2019	平成31年 4月	○「小山市多文化共生総合支援センター」開所。
2019	平成31年 4月 8日	○東城南小学校開校式。
2019	令和元年 5月 14日	○千葉県いすみ市と「農業振興・観光振興および災害時における相互応援に関する連携協定」締結。
2019	令和元年 5月 18日	○下河原田地域交流広場がオープン。
2019	令和元年 5月 22日	○「桑・蚕・繭・真綿かけ・糸つむぎのさと」オープン。
2019	令和元年 5月 26日	○「日本 和食（日本料理）サミット2019in小山」を開催。
2019	令和元年 7月	○豊穂川の一級河川指定。
2019	令和元年 9月 1日	○A I 会議録作成支援システム導入。
2019	令和元年 10月 12日	○10月12～16日、令和元年東日本台風発生。
2019	令和元年 11月 16日	○大妻女子大学との包括連携協定の締結。
2019	令和元年 11月 17日	○市制65周年記念式典を開催。
2019	令和元年 12月 13日	○石黒英雄氏（俳優）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2020	令和2年 1月	○「小山市立地適正化計画」策定。
2020	令和2年 1月 26日	○「小山市新型コロナウイルス感染症対策本部」設置。
2020	令和2年 2月 9日	○ハンガリー競技団体との東京五輪における事前キャンプに係る覚書の締結。
2020	令和2年 3月	○「小山市公共建築物長寿命化計画」策定。
2020	令和2年 3月	○「小山市学校施設長寿命化計画」策定。
2020	令和2年 3月	○「小山市多文化共生社会推進計画」策定。
2020	令和2年 3月 13日	○小川葉奈氏（オペラ歌手）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2020	令和2年 4月	○「小山市障がい者活躍推進計画」策定。
2020	令和2年 4月 1日	○小山市コミュニティバス「ハーヴェストウォーク線」の運行開始。
2020	令和2年 5月 30日	○渡良瀬遊水地コウノトリ交流館オープン式。
2020	令和2年 6月 15日	○山中智瑛氏（eスポーツ選手）に小山評定ふるさと大使委嘱。
2020	令和2年 7月 5日	○市長選挙で浅野正富氏当選。
2020	令和2年 9月 16日	駅東通り一丁目第一地区市街地整備事業ビル（小山イーストクロス）竣工。
2020	令和2年 10月	○「おーバス」利用促進プロジェクトがグッドデザイン賞受賞。

年(西暦)	年 月 日	出来事
2021	令和3年 3月	○「第8次小山市総合計画」策定。
2021	令和3年 3月	○小山市の新キャッチコピー&ロゴデザインが決定。
2021	令和3年 3月	○「おーバス」利用促進プロジェクトが令和2年度JCOMMプロジェクト賞受賞。
2021	令和3年 3月20日	○「第1回小山市民フォーラム」を開催。
2021	令和3年 3月28日	○東京オリンピック聖火リレーが小山市内にて実施された。
2021	令和3年 4月	○保育所等入所選考A I マッチングシステム導入。
2021	令和3年 4月 1日	○「小山市犯罪被害者等支援条例」施行。
2021	令和3年 4月23日	○城山町二丁目第一地区再開発ビル（アトラスタワー小山城山町）竣工。
2021	令和3年 5月 6日	○小山市役所新庁舎開庁。
2021	令和3年 5月31日	○宇都宮国道事務所と「災害時の「道の駅」利用に関する基本協定」締結。
2021	令和3年 6月 1日	○国営かんがい排水事業「栃木南部地区」荒川排水機場竣工。
2021	令和3年 7月	○東京オリンピック水球ハンガリー代表（男女）、スペイン代表（男子）が市内にて事前キャンプを実施。ハンガリー代表は男女ともに銅メダルを獲得、スペイン代表（男子）は4位入賞した。
2021	令和3年 7月	○東京オリンピック競泳男子200m個人メドレーで萩野公介選手が6位入賞。
2021	令和3年 7月 1日	○小山市立体育館開館。
2021	令和3年 7月 1日	○災害対策本部システムの運用を開始。
2021	令和3年 8月	○東京パラリンピック車いすバスケットボール男子で高橋柏義伸選手が銅メダルを獲得。
2021	令和3年 8月21日	○バスを補完するタクシー割引社会実験でJCOMMポスター賞代表理事賞を受賞。
2021	令和3年 9月 3日	○小山市・ケアンズ市姉妹都市締結15周年記念式典。
2021	令和3年 9月 3日	○萩野公介氏に市民栄誉賞授与。
2021	令和3年 10月 4日	○「おーバス」利用促進プロジェクトが第12回EST交通環境大賞優秀賞を受賞。
2021	令和3年 11月16日	○高松義伸氏に市民栄誉賞授与。
2022	令和4年 4月 8日	○豊田小学校開校式。
2022	令和4年 9月	○おーバス「モバイル定期券 スマホde noroca」が夏のDigi田甲子園栃木県代表として出場し全国8位。
2022	令和4年 10月 1日	○10月1日～11日に、いちご一会とちぎ国体（第77回国民体育大会）開催。小山市は9月に会期前競技として水球及び新体操、10月に空手道、ウエイトリフティング、軟式野球を実施した。
2022	令和4年 10月 7日	○おーバス「モバイル定期券 スマホde noroca」がグッドデザイン賞受賞。
2022	令和4年 10月29日	○10月29日～31日に、いちご一会とちぎ大会（第22回全国障害者スポーツ大会）開催。小山市は車いすバスケットボールを実施した。
2022	令和4年 11月12日	○第1回「2022サイクルフェスタ ～走ってみよう おやま・のぎ～」開催。

歴 代 二 役 (三 役)

令和4年4月1日現在
秘 書 課 調

市 長

代	氏 名	在 任 期 間
市長職務執行者	高 崎 秀 雄	昭和29年 3月31日 ~ 昭和29年 5月17日
初代~ 4代	山 中 泰 輔	昭和29年 5月18日 ~ 昭和45年 5月17日
5代~ 8代	栗 田 政 夫	昭和45年 5月18日 ~ 昭和59年 8月25日
9 代	小 林 武 夫	昭和59年 9月30日 ~ 昭和63年 6月11日
10代~12代	船 田 章	昭和63年 7月31日 ~ 平成12年 7月30日
13代~17代	大久保 寿 夫	平成12年 7月31日 ~ 令和 2年 7月30日
18代~	浅 野 正 富	令和 2年 7月31日 ~ 現 在

副 市 長

代	氏 名	在 任 期 間
初 代	小久保 吉 雄	平成19年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
2代~ 3代	宮 嶋 誠	平成23年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日
4 代	加 藤 賢 一	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 7月30日
5代~	雲 井 富 雄	令和 2年 9月 4日 ~ 現 在

助 役

代	氏 名	在 任 期 間
初 代	山 中 泰 輔	昭和29年 3月31日 ~ 昭和29年 5月17日
2代~ 3代	渡 辺 留 吉	昭和30年 3月22日 ~ 昭和38年 3月21日
4 代	中 田 邦太郎	昭和38年 5月11日 ~ 昭和40年 3月31日
4 代	栗 田 政 夫	昭和38年 5月11日 ~ 昭和40年 3月31日
5 代	鈴 木 長 治	昭和42年 7月 5日 ~ 昭和46年 7月 4日
6代~ 9代	小 川 仁	昭和47年 4月 1日 ~ 昭和63年 3月31日
8代~ 9代	長 瀬 親次郎	昭和56年10月 1日 ~ 昭和59年 8月25日
10 代	荒 井 龍	昭和63年12月23日 ~ 平成 4年12月22日
11代~12代	稲 葉 芳 雄	平成 5年 3月 1日 ~ 平成12年 7月30日
13代~14代	松 本 久 男	平成13年10月 1日 ~ 平成19年 3月31日

収 入 役

代	氏 名	在 任 期 間
初代~ 4代	古 川 好 一	昭和30年 3月 8日 ~ 昭和46年 3月 7日
5代~ 6代	福 田 督 次	昭和46年 8月20日 ~ 昭和54年 8月19日
7 代	高 岩 茂	昭和54年 8月20日 ~ 昭和58年 8月19日
8代~10代	島 村 侃 志	昭和62年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日
11 代	堀 木 彰	平成11年 7月 1日 ~ 平成12年 7月30日
12代~13代	宮 田 登志雄	平成13年10月 1日 ~ 平成19年 3月31日

歴代正副議長

令和4年7月1日現在
議 事 課 調

議 長

代	氏 名	在 任 期 間
初代～ 2代	石 崎 亀三郎	昭和29年 4月 1日 ～ 昭和34年 3月30日
3 代	坪野谷 久 平	昭和34年 4月13日 ～ 昭和36年 4月15日
4 代	金 子 茂	昭和36年 4月15日 ～ 昭和38年 4月29日
5代～ 6代	阿久津 治 夫	昭和38年 5月10日 ～ 昭和42年 4月29日
7 代	松 本 清 一	昭和42年 5月12日 ～ 昭和44年 6月20日
8代～ 9代	金 子 茂	昭和44年 6月20日 ～ 昭和46年 4月29日
10 代	高 島 一 郎	昭和46年 5月13日 ～ 昭和48年 6月18日
11代～12代	長 瀬 親次郎	昭和48年 6月18日 ～ 昭和50年12月22日
13 代	植 野 保 正	昭和50年12月22日 ～ 昭和53年 9月29日
14 代	岸 好	昭和53年 9月29日 ～ 昭和54年 4月29日
15 代	長 瀬 親次郎	昭和54年 5月15日 ～ 昭和56年 6月25日
16 代	植 野 保 正	昭和56年 6月25日 ～ 昭和58年 4月29日
17 代	野 村 春 夫	昭和58年 5月17日 ～ 昭和60年 3月13日
18代～19代	橋 本 金次郎	昭和60年 3月13日 ～ 昭和63年 3月14日
20 代	峰 崎 茂	昭和63年 3月30日 ～ 平成 元年 9月11日
21 代	横 塚 進	平成 元年 9月11日 ～ 平成 3年 4月29日
22 代	左 巻 秀 三	平成 3年 5月17日 ～ 平成 5年 6月25日
23 代	渡 辺 直 治	平成 5年 6月25日 ～ 平成 7年 4月29日
24 代	森 田 総 一	平成 7年 5月17日 ～ 平成 9年 6月23日
25 代	木 戸 健 志	平成 9年 6月23日 ～ 平成11年 4月29日
26 代	本 橋 徳太郎	平成11年 5月18日 ～ 平成13年 6月27日
27 代	椎 名 寛	平成13年 6月27日 ～ 平成13年12月21日
28 代	大 山 典 男	平成13年12月21日 ～ 平成15年 4月29日
29 代	手 塚 茂 利	平成15年 5月20日 ～ 平成17年 6月22日
30 代	山 口 忠 保	平成17年 6月22日 ～ 平成19年 4月29日
31 代	松 島 不 三	平成19年 5月16日 ～ 平成21年 6月25日
32 代	石 渡 丈 夫	平成21年 6月25日 ～ 平成23年 4月29日
33 代	野 村 広 元	平成23年 5月17日 ～ 平成25年 6月27日
34 代	大 山 典 男	平成25年 6月27日 ～ 平成27年 4月29日
35 代	関 良 平	平成27年 5月19日 ～ 平成29年 6月22日
36 代	小 川 亘	平成29年 6月22日 ～ 平成31年 4月29日
37代～38代	福 田 洋 一	令和 元年 5月16日 ～ 現在

副 議 長

代	氏 名	在 任 期 間
初 代	山 中 徹 雄	昭和29年 4月 1日 ~ 昭和30年 3月30日
2 代	中 村 斌	昭和30年 4月11日 ~ 昭和34年 3月30日
3代~ 4代	阿久津 治 夫	昭和34年 4月13日 ~ 昭和38年 4月29日
5 代	速 水 進	昭和38年 5月10日 ~ 昭和40年 6月16日
6 代	松 本 清 一	昭和40年 6月16日 ~ 昭和42年 4月29日
7 代	塚 原 彪	昭和42年 5月12日 ~ 昭和44年 6月20日
8 代	高 島 一 郎	昭和44年 6月20日 ~ 昭和45年 6月19日
9 代	岡 本 司三郎	昭和45年 6月19日 ~ 昭和46年 4月29日
10 代	岸 好	昭和46年 5月13日 ~ 昭和48年 6月18日
11 代	小 林 武 夫	昭和48年 6月18日 ~ 昭和50年 3月31日
12 代	植 野 保 正	昭和50年 5月14日 ~ 昭和50年12月22日
13 代	大 出 勝 久	昭和50年12月22日 ~ 昭和53年 9月29日
14 代	橋 本 金次郎	昭和53年 9月29日 ~ 昭和54年 4月29日
15 代	鶴 見 勝 二	昭和54年 5月15日 ~ 昭和56年 6月25日
16 代	峰 崎 茂	昭和56年 6月25日 ~ 昭和58年 4月29日
17 代	関 口 育 男	昭和58年 5月17日 ~ 昭和60年 3月13日
18 代	渡 辺 直 治	昭和60年 3月13日 ~ 昭和62年 4月29日
19 代	峰 崎 茂	昭和62年 5月14日 ~ 昭和63年 3月30日
20 代	森 田 総 一	昭和63年 3月30日 ~ 平成 元年 9月11日
21 代	西 村 弘	平成 元年 9月11日 ~ 平成 3年 4月29日
22 代	糸 井 助三郎	平成 3年 5月17日 ~ 平成 5年 6月25日
23 代	伊 沢 範 夫	平成 5年 6月25日 ~ 平成 7年 4月29日
24 代	松 島 儼	平成 7年 5月17日 ~ 平成 9年 6月23日
25 代	本 橋 徳太郎	平成 9年 6月23日 ~ 平成11年 4月29日
26 代	大 山 典 男	平成11年 5月18日 ~ 平成13年 6月27日
27 代	星 野 日出男	平成13年 6月27日 ~ 平成15年 4月29日
28 代	石 島 政 己	平成15年 5月20日 ~ 平成17年 6月22日
29 代	石 渡 丈 夫	平成17年 6月22日 ~ 平成19年 4月29日
30 代	野 村 広 元	平成19年 5月16日 ~ 平成21年 6月25日
31 代	塚 原 一 男	平成21年 6月25日 ~ 平成23年 4月29日
32 代	塚 原 俊 夫	平成23年 5月17日 ~ 平成25年 6月27日
33 代	生 井 貞 夫	平成25年 6月27日 ~ 平成27年 4月29日
34 代	角 田 良 博	平成27年 5月19日 ~ 平成29年 6月22日
35 代	荒 川 美代子	平成29年 6月22日 ~ 平成31年 4月29日
36 代	植 村 一	令和 元年 5月16日 ~ 令和 3年 6月28日
37 代	橋 本 守 行	令和 3年 6月28日 ~ 現在

市制施行以降の教育委員

氏 名	在 任 期 間
塚 原 隆 二	昭 29. 3. 31 ~ 昭 30. 3. 30
中 村 斌	昭 29. 3. 31 ~ 昭 30. 3. 30
寺 岡 与 七	昭 29. 3. 31 ~ 昭 30. 3. 30
小 池 知 明	昭 29. 3. 31 ~ 昭 31. 9. 30
松 浦 盛三郎	昭 29. 3. 31 ~ 昭 32. 9. 30
鈴 木 長 治	昭 29. 3. 31 ~ 昭 42. 7. 4
野 住 生	昭 30. 3. 31 ~ 昭 33. 9. 30
小 池 安 夫	昭 30. 3. 31 ~ 昭 38. 9. 30
宇 井 浩 道	昭 30. 3. 31 ~ 昭 51. 9. 30
永 藤 義 雄	昭 32. 10. 1 ~ 昭 40. 9. 30
山 中 勲	昭 33. 10. 1 ~ 昭 47. 6. 20
渡 辺 佐 一	昭 38. 10. 1 ~ 昭 53. 9. 30
山 口 淳 一	昭 40. 10. 1 ~ 昭 47. 10. 29
坂 本 重 造	昭 42. 7. 5 ~ 昭 46. 6. 30
神 川 澡	昭 46. 9. 1 ~ 昭 50. 12. 23
杉 田 房 吉	昭 47. 7. 1 ~ 昭 57. 9. 30
宮 田 清	昭 48. 3. 1 ~ 昭 56. 9. 30
慶 野 恒 徳	昭 51. 4. 5 ~ 平 4. 9. 30
古 谷 一 夫	昭 51. 10. 1 ~ 平 2. 2. 15
東 条 拳 明	昭 53. 10. 1 ~ 平 3. 9. 30

歴代教育委員長

氏 名	在 任 期 間
小 池 知 明	昭 29. 3. 31 ~ 昭 31. 9. 30
松 浦 盛三郎	昭 31. 10. 1 ~ 昭 32. 9. 30
野 住 生	昭 32. 10. 1 ~ 昭 33. 9. 30
小 池 安 夫	昭 33. 10. 1 ~ 昭 34. 9. 30 昭 37. 10. 1 ~ 昭 38. 9. 30
宇 井 浩 道	昭 34. 10. 1 ~ 昭 35. 9. 30 昭 38. 10. 1 ~ 昭 51. 9. 30
永 藤 義 雄	昭 35. 10. 1 ~ 昭 36. 9. 30
山 中 勲	昭 36. 10. 1 ~ 昭 37. 9. 30

歴代教育長

氏 名	在 任 期 間
鈴 木 長 治	昭 29. 3. 31 ~ 昭 42. 7. 4
坂 本 重 造	昭 42. 7. 5 ~ 昭 46. 6. 30
神 川 澡	昭 46. 9. 1 ~ 昭 50. 12. 23
慶 野 恒 徳	昭 51. 4. 5 ~ 平 3. 3. 31
小 山 正 義	平 3. 4. 1 ~ 平 6. 4. 20

令和4年4月1日現在
教育委員会教育総務課調

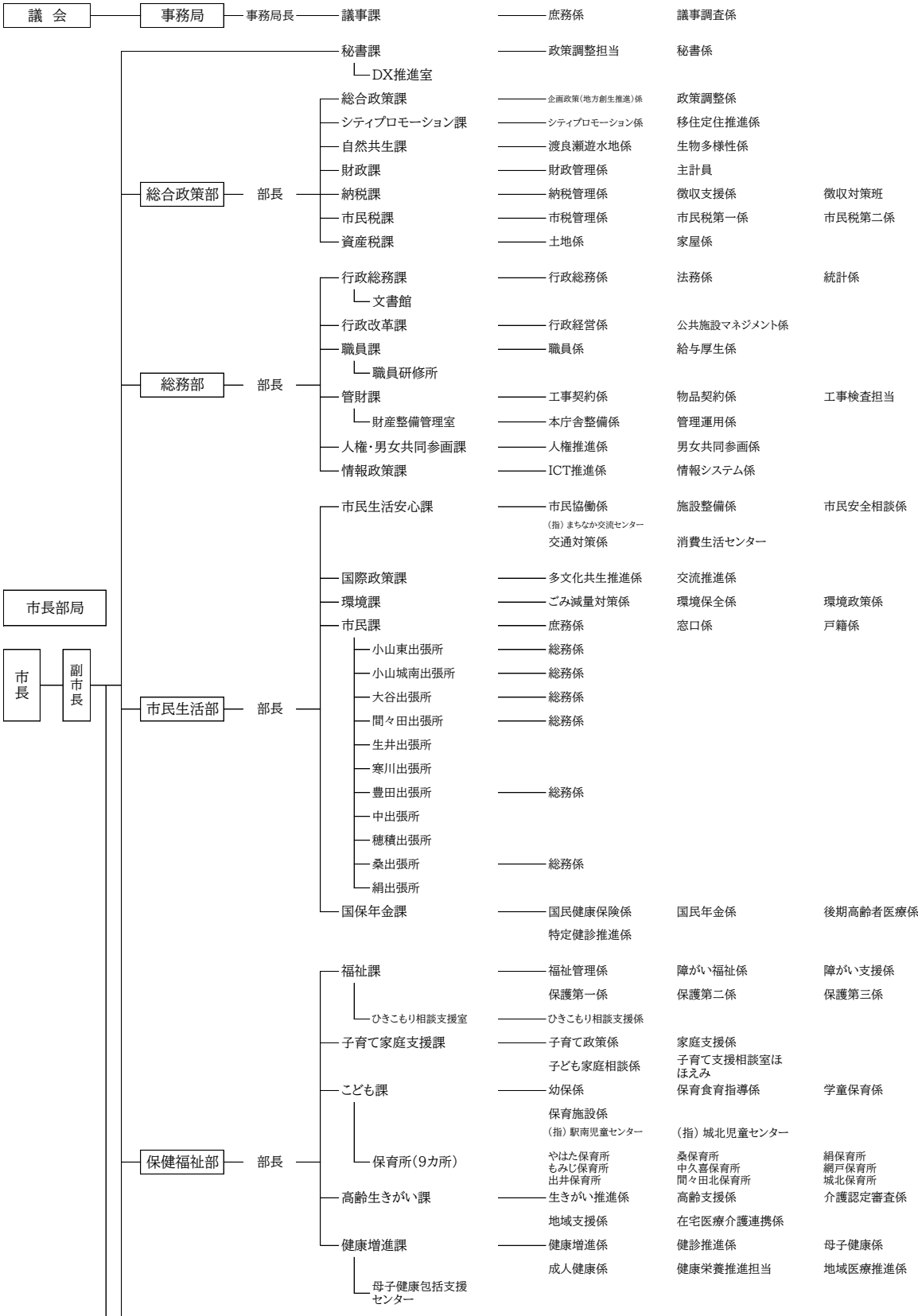
氏 名	在 任 期 間
菅 沼 浩	昭 56. 10. 1 ~ 平 9. 9. 30
田 波 子 平	昭 57. 10. 1 ~ 平 10. 9. 30
小 山 正 義	平 2. 6. 15 ~ 平 6. 4. 20
近 藤 稔	平 4. 10. 1 ~ 平 12. 9. 30
石 倉 洋 子	平 3. 10. 1 ~ 平 14. 2. 3
菅 沼 基 訓	平 6. 7. 1 ~ 平 14. 3. 31
神 山 宜 久	平 10. 10. 1 ~ 平 30. 9. 30
福 地 尚 美	平 13. 4. 1 ~ 令 3. 3. 31
清 水 悟	平 14. 4. 1 ~ 平 23. 3. 31
新 井 泉	平 14. 4. 1 ~ 令 元. 9. 30
慶 野 裕 子	平 20. 4. 1 ~ 平 24. 3. 31
酒 井 一 行	平 23. 4. 1 ~ 平 28. 9. 30
西 口 絹 代	平 24. 4. 1 ~ 平 28. 3. 31
福 井 崇 昌	平 9. 10. 1 ~ 令 3. 9. 30
結 城 美 鶴	平 28. 4. 1 ~ 現 在
岩 井 正 夫	平 30. 10. 1 ~ 現 在
荒 井 友 子	令 元. 10. 1 ~ 現 在
奥 中 栄 二	令 3. 4. 1 ~ 現 在
大 橋 雅 子	令 3. 10. 1 ~ 現 在

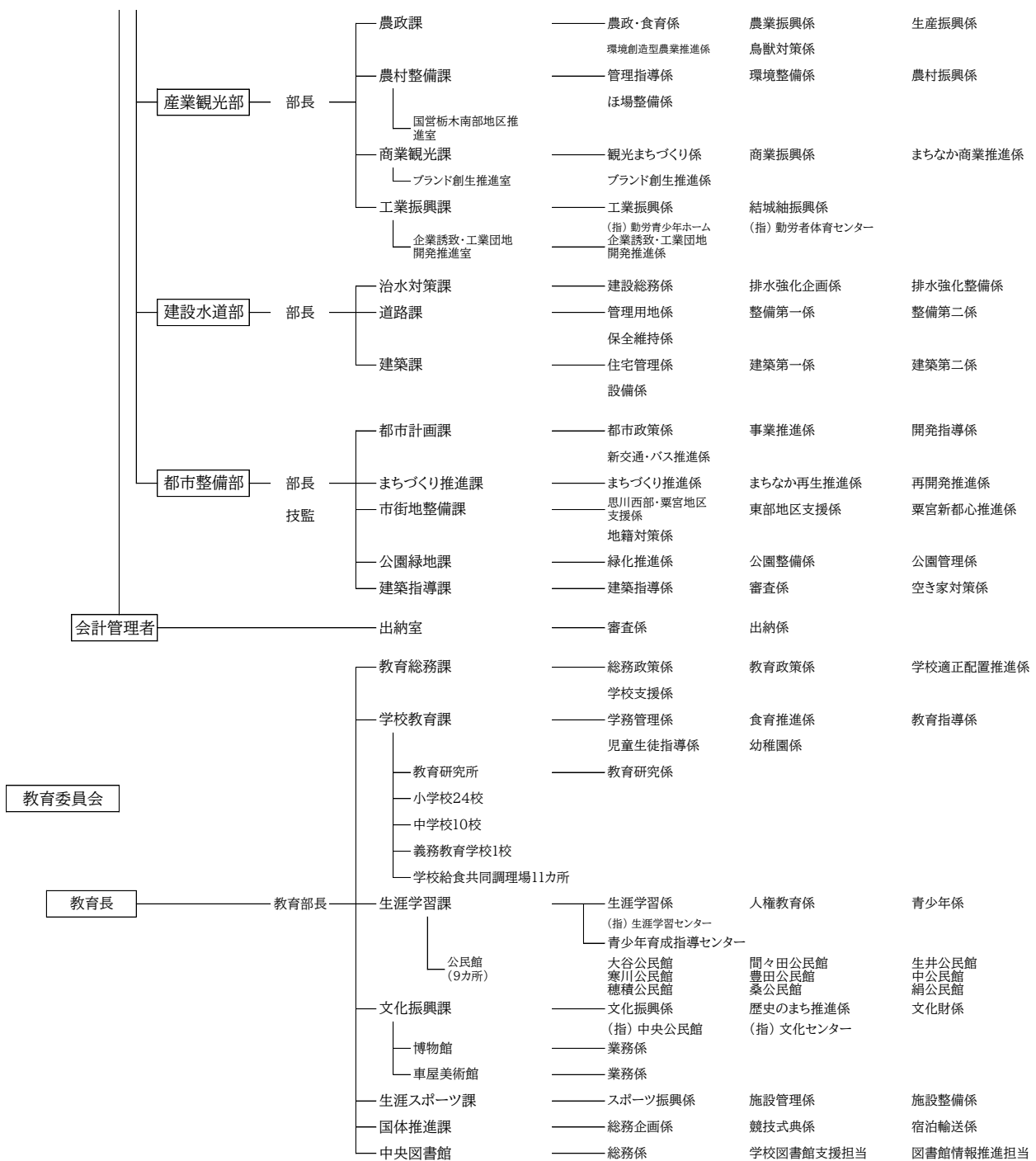
氏 名	在 任 期 間
渡 辺 佐 一	昭 51. 10. 1 ~ 昭 53. 9. 30
古 谷 一 夫	昭 53. 10. 1 ~ 平 2. 2. 15
菅 沼 浩	平 2. 6. 25 ~ 平 9. 9. 30
田 波 子 平	平 9. 10. 1 ~ 平 10. 9. 30
石 倉 洋 子	平 10. 10. 1 ~ 平 14. 2. 3
福 井 崇 昌	平 14. 3. 8 ~ 平 28. 9. 30

氏 名	在 任 期 間
菅 沼 基 訓	平 6. 7. 1 ~ 平 14. 3. 31
清 水 悟	平 14. 4. 1 ~ 平 23. 3. 31
酒 井 一 行	平 23. 4. 1 ~ 令 2. 9. 30
濱 口 隆 晴	令 2. 10. 1 ~ 現 在

小 山 市 行 政 組 織 機 構 図

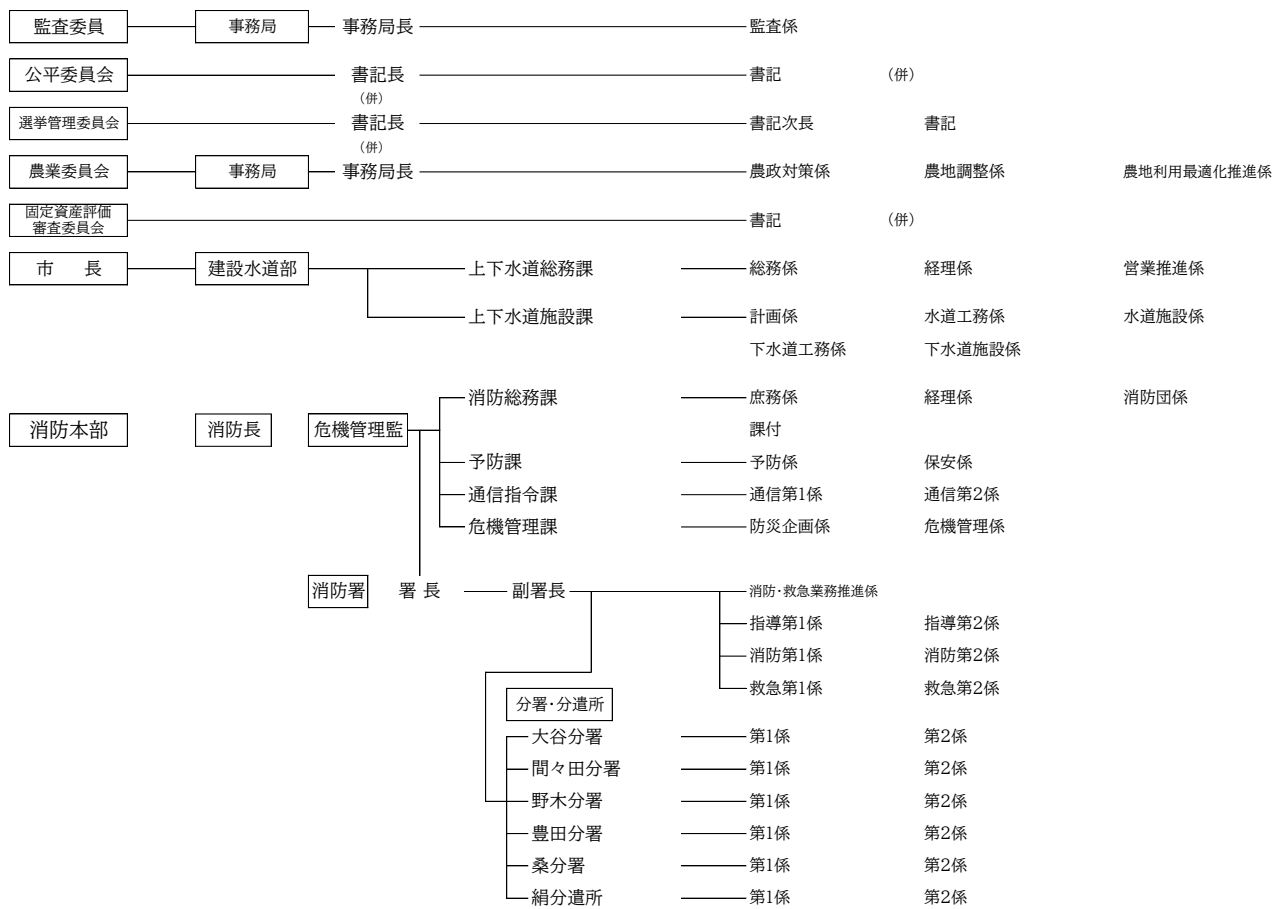
令和4年4月1日現在





(指)は、直営施設から指定管理施設となったもの

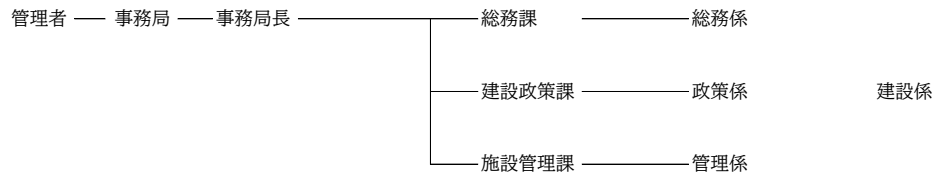
[その他の指定管理施設] 中央市民会館、城南市民交流センター、間々田市民交流センター、桑市民交流センター、市営駐車場(2カ所)、公共駐輪場(8カ所)、学童保育施設(33カ所)、ふれあい健康センター、道の駅思川、絹ふれあいの郷、まちな駅、市営住宅



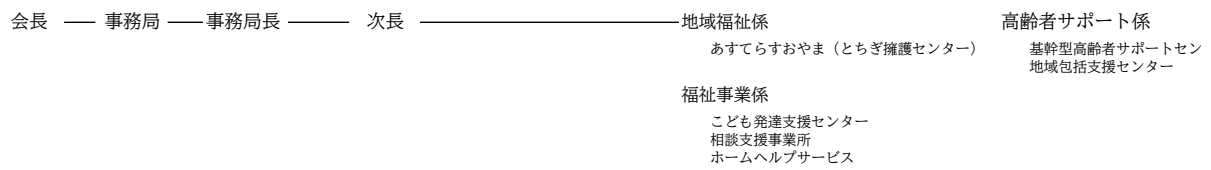
〔参 考〕

令和4年4月1日現在

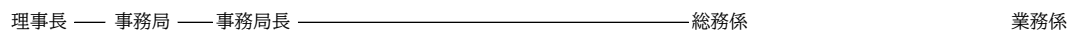
【小山広域保健衛生組合】（出向）



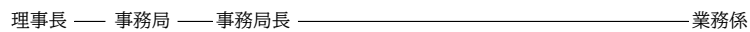
【（社福）社会福祉協議会】（派遣）



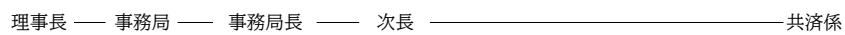
【（公社）シルバー人材センター



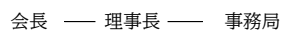
【小山市土地開発公社】（併任）



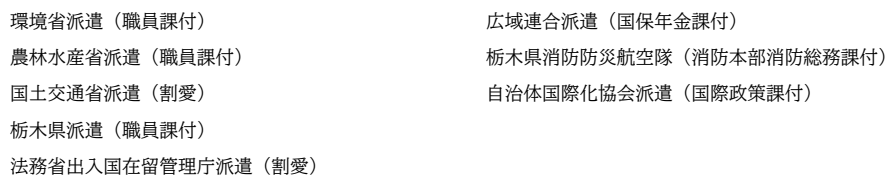
【（一財）小山市勤労者共済サービスセンター】



【（公財）小山市体育協会】（派遣）



【他自治体派遣等職員】（派遣等）



令和4年度版

小山市統計年報

令和5年1月

発行

小山市

企画・編集

小山市総務部行政総務課

Tel 0285-22-9312
